

令和5年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会 スポーツ部会議事録

1 日時：令和5年7月19日（水） 午後1時30分～午後4時21分

2 場所：千葉市役所4階 L会議室401

3 出席者：

(1) 委員 石井 慎一委員（部会長）、霞 晴久委員、観音寺 拓也委員（副部会長）、
馬場 宏輝委員、望月 悦子委員

(2) 事務局

（都 市 局）岩田都市局次長

（都市総務課）橋本都市総務課長、関谷課長補佐、館主査、池本主任主事

（公園緑地部）小川公園緑地部長

（公園管理課）佐野運営調整担当課長、池田主査、加藤主任技師、倉重主任主事、傳見技師

4 議題：

(1) 千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価について

(2) 千葉市蘇我スポーツ公園〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（フクダ電子グラウンド）、円形野球場（フクダ電子スタジアム）、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地〕、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等〔第3多目的グラウンド（フクダ電子ゴルフパーク）、公園園地〕、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等〔スケートパーク（フクダ電子ボードエリア）、第4駐車場、公園園地〕の年度評価について

5 議事の概要：

(1) 千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価について

令和4年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、サービス水準向上、改善を要する点等、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(2) 千葉市蘇我スポーツ公園〔蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）、多目的広場（フクダ電子スクエア）、庭球場（フクダ電子ヒルスコート）、第1多目的グラウンド（フクダ電子フィールド）、第2多目的グラウンド（フクダ電子グラウンド）、円形野球場（フクダ電子スタジアム）、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地〕、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等〔第3多目的グラウンド（フクダ電子ゴルフパーク）、公園園地〕、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等〔スケートパーク（フクダ電子ボードエリア）、第4駐車場、公園園地〕の年度評価について

令和4年度「指定管理者年度評価シート」について施設所管課から説明の後、サービス水準向上、改善を要する点等、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

午後 1時30分 開会

【都市総務課長補佐】 では、時間になりましたので、始めさせていただきますと思います。

委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

ただいまより令和5年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を開催いたします。

事務局をしております都市総務課課長補佐の関谷でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、委員5名全ての皆様に御出席いただいておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項の規定により、本会議は成立しております。

開会に当たりまして、都市局次長の岩田より御挨拶申し上げます。

【都市局次長】 改めまして、都市局次長の岩田と申します。本日はありがとうございます。

本来であれば局長の藤代が出席すべきところですが、所用のため参加できませんので、代わりまして御挨拶申し上げます。

委員の皆様には、本日大変お忙しいところ御出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃から本市の都市行政をはじめ市政について様々な御支援、御協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、本日の部会では千葉マリスタジアムと千葉市蘇我スポーツ公園の昨年度の管理運営に対する年度評価について御審議をいただくものとなっております。千葉マリスタジアムは千葉ロッテマリーンズの本拠地としてプロ野球興行を行うとともに、市民のスポーツ活動、レクリエーション活動、文化活動の場の提供とともに大規模集客施設としての幕張新都心のにぎわいづくりに寄与する本市としても非常に重要な施設となっております。

また、千葉市蘇我スポーツ公園はジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムであるほか、サッカー、野球、テニス、スケートボードなどができる様々な施設を備えた大規模なスポーツ公園でございます。市民スポーツの振興の拠点としてだけではなく、野外音楽フェスなど大規模なイベントの開催により地域の活性化に寄与しています。また、災害時には防災拠点となるなど様々な目的となった施設でございます。それぞれがより魅力ある施設となるよう、より一層の改善につなげてまいりたいと考えておりますので、本日は委員の皆様には忌憚のない御意見を賜ればというふうに思っております。

以上、簡単ですが、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【都市総務課長補佐】 都市局次長の岩田につきましては、本日所用がございますため、これをもちまして退席とさせていただきます。

(都市局次長退席)

【都市総務課長補佐】 着座にて失礼します。

それでは、議事に入る前に、会議の公開及び議事録の作成について御説明をいたします。

お手元の資料3「都市局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」を御覧ください。

本日の会議は、1、会議の公開の取扱いの(2)により一部非公開としておりますので、あらか

じめ御承知おきください。

また、議事録につきましては、2、議事録の確定の（1）及び3、部会の会議への準用により、事務局が案を作成し、皆様に内容を確認していただいた後、部会長の承認により確定とさせていただきます。

それでは、議事に入らせていただきたいと思います。部会長選出までの間、事務局にて議事の進行をさせていただきたいと思います。

初めに、議題1、部会長及び副部会長の選任についてを行わせていただきます。

お手元にお配りしております資料5「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」を御覧ください。

こちらの第11条第4項に部会に部会長及び副部会長を置き、部会に属する委員及び臨時委員の互選により定めると規定がございますので、部会長の選任につきましては御意見を頂戴したいと思います。

観音寺委員、お願いします。

【観音寺委員】 前回も部会長を務めていらっしゃった石井委員さんがよろしいかと思えます。

【都市総務課長補佐】 ありがとうございます。

ただいま観音寺委員より石井委員を部会長に推薦する旨の御提案がございましたが、皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、石井委員に部会長をお願いしたいと思います。

続きまして、副部会長の選任をお願いしたいと思います。御意見、いかがでしょうか。

望月委員、お願いします。

【望月委員】 副会長も務めておられる観音寺委員さんに副部会長をお願いできたらと思えます。

【都市総務課長補佐】 ありがとうございます。

それでは、観音寺委員に副部会長をお願いしたいと思います。

それでは、これから部会長に議事の進行をしていただきたいと思います。石井部会長、よろしくお願ひいたします。

【石井部会長】 委員の皆様方の御推挙によりまして、部会長を仰せつかりました石井でございます。

ここからは私が議事進行をさせていただきます。会議を円滑に進めてまいりたいと思致しますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、議題（2）千葉マリスタジアム（ZOZOマリスタジアム）の年度評価についてに入ります。

まず、資料7-1「令和4年度指定管理者年度評価シート」の1、公の施設の基本情報から7、総括、（2）市による評価について事務局より御報告をお願ひいたします。

【公園管理課運営調整担当課長】 公園管理課の佐野と申します。よろしくお願ひいたします。着座にて説明をさせていただきます。

それでは、資料7-1「令和4年度指定管理者年度評価シート」について御説明いたします。

初めに、1の公の施設の基本情報でございます。

施設名称はZOZOマリンスタジアムでございます。ビジョンはプロ野球興行をはじめ、市・県民のスポーツ・レクリエーション活動や様々な文化・エンターテインメント活動が展開できる場を提供することで、千葉市が誇る大規模集客施設として機能するとともに、幕張新都心や本市全体のにぎわいづくりと魅力向上に寄与していく、でございます。

ミッションは4つございます。1つ目は、プロ野球興行において選手が安全にプレーできる環境を整えるとともに、来場者が快適に観戦できる空間を提供すること。2つ目は、市・県民にハイグレードで非日常的なスポーツ・エンターテインメント活動の場を提供すること。3つ目は、様々な文化・エンターテインメント活動が展開され、多くの来場者が楽しむことができる空間を提供すること。4つ目が幕張新都心のランドマークとして市民に誇りを与えることでございます。

制度導入により見込まれる効果は記載のとおりです。

成果指標と数値目標はまとめて御説明いたします。

1つ目の成果目標は、球団による練習利用、諸室等の利用者を除いた一般利用による利用者数、来場者数で、その数値目標は10万1,000人です。2つ目の成果目標は全体の利用者数、来場者数で、目標は193万9,000人です。3つ目の成果目標は施設の稼働率で、目標は90.7%としております。

次に、2の指定管理者の基本情報です。

指定管理者名は株式会社千葉ロッテマリーンズ、1つ飛ばしまして、指定管理期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間としております。選定方法は非公募です。管理運営費の財源は利用料金収入でございます。

次に、3の管理運営の成果・実績でございます。

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況です。1つ目の目標、一般利用による利用者数、来場者数10万1,000人に対しまして、実績は7万4,869人、達成率は74.1%となりました。2つ目の目標、利用者数、来場者数193万9,000人に対しまして、実績179万6,741人、達成率は92.7%となりました。3つ目の目標、稼働率90.7%に対しましては90.3%、達成率は99.5%となりました。

2ページをお願いします。

収支状況です。1、必須業務収支状況の収入ですけれども、本施設は独立採算制により管理運営を行っているため、収入は利用料金収入となります。実績は3億9,216万6,000円です。計画との差はイベント開催による収入の増加などによるものでございます。

次にイの支出ですが、人件費の実績は6,610万1,000円、計画との差は429万9,000円の減で、これは人件費の単価縮減によるものでございます。

1つ飛ばしまして、管理費の実績は1億2,680万2,000円、計画との差が3,400万2,000円の増となっております、これは光熱水費の高騰による影響を受けたものでございます。

委託費の実績ですが、1億6,544万4,000円、計画との差が1,444万4,000円となっております。その他事業費の実績は6億993万5,000円、計画との差は1,603万5,000円の増となっております、施設への来場者数の増加に応じて管理運営や施設警備などの業務量が増えたことによるものでございます。

以上、支出の合計は9億6,989万2,000円で、計画との差は6,039万8,000円の増となっております。

3ページをお願いいたします。

(2)の自主事業収支状況です。アの収入は27億4,001万9,000円に対しまして、支出は8億7,855万4,000円となっております。

(3)の収支状況ですが、必須業務と自主事業を合わせた全体の状況です。必須業務の収支は5億7,772万6,000円の赤字、自主事業の収支は18億6,146万5,000円の黒字となっており、全体の収支としましては12億8,373万9,000円の黒字となっております。

利益還元についてですけれども、還元額の算定は通常総収支の額を剰余金としまして、剰余金から総収入の10%の相当額を控除した額の2分の1を還元することとしております。ただし、基本協定では別に利益還元を定めている場合はその収入と支出を控除して算定することとしております。このため、本指定管理では自主事業の一つである広告看板の設置に伴い約2.8億円の行政財産目的外使用料が市に納付されておりますので、これを別の利益還元とみなしております。

そこで、還元額の算定におきましては、総収入と総支出からそれぞれ広告看板の設置に係る収入額と支出額を控除して算定いたしますと、剰余金はマイナス2億1,088万7,000円となり、利益還元はなしということになります。その計算式につきましては、(3)収支状況の下の注釈のところに計算式を書かせていただいておりますので、御参照いただければと思います。

4ページをお開きいただけますでしょうか。

5の管理運営状況の評価です。(1)管理運営による成果・実績ですけれども、先ほど御説明しましたおのおの実績、達成率から一般利用による利用者数の評価はDとしております。それから、施設利用者数と施設稼働率の評価はCとなっております。

次に、(3)の管理運営の履行状況でございますが、指定管理者の自己評価ですが、2の施設管理能力の(1)、(2)、それから、3、施設の効用の発揮の(1)、(2)、(3)がBとなっております。その他はCとなっております。

これに対しまして、本市の評価は上半期及び下半期に実施したモニタリングの結果に基づき評価を行いまして、いずれも指定管理者と同じ評価となっております。

では、6ページを御覧ください。

(4)の都市局指定管理者選定評価委員会の意見を踏まえた対応でございます。1つ目の利益還元の計算方法を年度評価シートに分かりやすく記載すべきとの御意見につきましては、先ほど御説明の中で申し上げましたように、注釈として計算式を明示してございます。2つ目のキャンセルされた空き枠について、実績としてどれぐらい一般利用が増えたのか把握に努めることという御意見をいただいておりますけれども、キャンセルが発生した場合、落選者に声かけを行い、利用促進を図っておりますが、令和4年度につきましては、全部で14件のキャンセルが発生しております。これに対して声かけを行ったところ、実際には3件の利用があったということで報告を受けております。引き続きキャンセル枠の利用促進に努めてまいりたいと考えております。

次に、6の利用者ニーズ・満足度等の把握です。

(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果ですが、回答数は実施内容の2段目に記載されておりますとおり62件となります。主な内容を紹介しますと、利用者の属性は住まいが市内25%、隣接市16%、その他県内59%となっております。年齢層は10代から40代の方で9割以上を占めております。1コマ2時間としている利用時間について、十分であるというお答えをいただいた方は63%おりました。それから、利用料金は66%の方が妥当と回答しておりますけれども、「安い」、

「やや安い」との回答も33%ありました。スタジアム利用の調査方法は、千葉ロッテマリーンズの公式ホームページが61%となっているほか、施設や千葉市のホームページを合わせますと88%となっております。スタジアムの利用回数につきましては、2回から5回が最も多くて41%、次いで初めてが21%となっております。

(2)の市・指定管理者に寄せられた主な意見、苦情でございます。

1つ目の満員時の携帯電話通信環境の不備についてですが、各携帯キャリアに対して電波の増強やアンテナ増設について申入れを実施しております。一部のキャリアでは対応を進めておりますけれども、引き続き改善を求めていくこととしております。2つ目の興行開催時の駐車場出口混雑についてですけれども、このことに関係する千葉県土木事務所、県警察本部、それから、千葉西警察署と信号機の時間延長や別ルートからの退場など改善に向けて協議を行っておりますけれども、ほかの信号機の時間も調整する必要があることやほかのルートでの出入りは安全面で大きな課題があり、解決には至っていないという状況でございます。

次に、7ページを御覧ください。

7の総括でございます。(1)の指定管理者による自己評価、自己の総括評価はBとなっております。

その所見をかいつまんで申し上げますと、感染症による動員制限がなくなり、3年ぶりに多くの来場者が訪れた。このことに伴う施設の破損も多発したけれども、適切に対処しました。5月に観客の心肺停止事案が発生しましたが、令和3年度に実施した日本AED財団によるRED SEA ATプロジェクトの実証実験を行ったこともあって、適切にAEDを使用でき、命を救うことができ、球場内でAEDの不足が生じないように10台増設して22台としました。

球場の劣化箇所については、指定管理者としての修繕のほか独自の修繕も実施しました。2万人近い来場にも対応できるよう、定期的に配水管を洗浄し、トイレの詰まりなどが発生しないように管理を行いました。イベントについては、初開催となるX gamesをはじめ、バンダイナムコフェスやサマーソニックを実施しました。スタジアムの保全日数を可能な限り抑えて、一般への開放日数を確保しました。また、野球利用のほか多くの方にプロ野球の施設を体感してもらえるよう初の試みとなるナイトヨガ、プロポーズ利用にも取り組んだ。以上でございます。

次に、(2)市による総括評価ですが、これはBとしております。所見の欄にも記載させていただいておりますけれども、成果指標についてはコロナ禍の制限が完全になくならない中で、レジャー控えの機運も残る中、前年に引き続き令和4年度も達成に至りませんでした。しかしながら、感染症対策や事業の実施、イベントの誘致に積極的に取り組まれた結果、成果は大きく改善し、前年の2倍を超える多くの来場者がありました。とりわけナイトヨガをはじめこれまで開催されなかったイベントを誘致して、新たな層にスタジアムを御利用いただくことができました。また、利用者、来場者の安全のため施設修繕にも積極的に取り組まれ、基本協定に定める額を超える修繕が実施されました。

成果指標の達成率は目標を下回っているんですが、管理運営状況に対する評価に基づきまして、総括評価についてはBとしております。

説明は以上となります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の御報告に対しまして、御意見、御質問等を委員の皆様からお願いしたいと思います。

その質問等の前に、今回資料1として机上配付されたものがあつたかと思ひます。これも成果指標の数字に関係してくるところだと思ひますので、成果指標がB評価になっているということもありますし、このあたりをちょっと御説明いただければと思ひます。

【公園管理課運営調整担当課長】 そうしましたら、机上配付資料の参考資料2、その1ページ目をお開きいただけますでしょうか。

資料1というふうにならに書かれてる資料でございます。こちらの資料につきましては、資料7-6の33ページのちょっと印字がかなり小さくなつてしまつてゐるものがございまして、それを拡大したものでございます。かつ成果指標として示してゐる数字がこちらの事業報告書の中からは読み取りづらひなので、こちらを資料1として別途配付させていただいたものでございます。

まず、資料7-1の1ページ目をいま一度御覧いただけますでしょうか。

こちらの3の管理運営の成果・実績の(1)でございます。こちらに3つの成果指標を掲載しておりますが、令和4年度実績としてまず一般利用による利用者数、来場者数ということで7万4,869人と書かせていただいておりますけれども、この資料1のほうを御覧いただきまして、表の左側、一般利用(アマチュア)と書いてございます。その集計欄AプラスBと書いてある列があると思ひますが、そちらの一番下の数字がこの成果指標に書かせていただいております数字でございます。

この数字の内訳ですけれども、そのすぐ隣にプロ・M諸室除く利用者数が(A)、入場者数(B)となつております。このプロ・Mというのはプロ野球利用、それから、マリーンズ球団としての諸室利用を除いた利用者数が年間で1万1,852人、それから、アマチュアとしての球場利用で6万3,017人があつたということで、その合計が7万4,869人ということで示させていただいております。

続きまして、2つ目の成果指標の利用者数、来場者数、資料7-1で179万6,741人と書かせていただいております。これは資料1のほうの合計欄を御覧ください。先ほどの一般利用(アマチュア)にイベントなどのアマチュア以外の利用者数を加えたもの、これが合計になっておりますが、この一番右側の集計欄、CプラスDと書いてあるところ、ここの一番下、179万6,741人、この数字を成果指標のほうに記載しております。ということで、この資料1の説明につきましては以上となります。よろしくお願ひします。

【石井部会長】 では、望月委員。

【望月委員】 3つほどお尋ねしたいのですけれども、まず資料7-1の1枚目の成果・実績のところ、稼働率は結構いい線をいっている感じがしましたが、利用者、来場者の数がそれ程伸びていません。これは団体自体がイベントに対して入場制限を行ったとか、小規模で企画を実施したのが原因かと思われますが、その理解で合っているか確認させてください。

2つ目が3ページのところの必須業務がかなり赤字になっている印象です。利用者数が増えるということで結構修繕を行ったということですから、当初の予算計画の段階で見込みが妥当だったのか確認させてください。収入に対して赤字のほうはかなり大きくなつてゐる印象です。

あと、3点目が6ページの利用者アンケートが利用者数の割に62件と少なく、残念なんです。ど

ういうタイミングでアンケートを行っているのか、利用者の声を拾うためになるべくイベントごとにアンケートを取るように努力していただいたほうが良いと思いますが、そのあたりの取組状況について教えてください。

【公園管理課】 公園管理課です。

1つ目の御質問ですけれども、令和4年度に関しましては、2022年のプロ野球シーズンでいいますと、3月のオープン戦までは入場者数の上限が設けられていまして、2万人までとされていましたが、公式戦に関しましては制限なく受入れをしていたような状況がございました。ただ、感染症対策は引き続き手指消毒をはじめ残っていたりですとか、あとは声を出しての応援などの制限というのは昨シーズンに関しましては引き続き残っていたこともございまして、例年お越しいただくようなお客様の中には、まだ来場を控えるというような機運もあったかなというふうに考えているところでございます。

続きまして、2つ目の御質問ですけれども、指定管理者の千葉ロッテマリーンズさんに関しましては、自主事業と必須業務のトータルで収支を合わせるような傾向が従前からございまして、市としても指定管理料はお支払いしていない中ということもございまして、必須業務での赤字が大きいのという部分は一定やむを得ない部分もあるのかなというふうに考えております。

それから、アンケートに関する御質問ですけれども、こちらは一般利用で草野球など御利用いただく際に、現場で紙を手渡しで御記入いただくようお願いしているような状況がございまして、もしかしたらこういったやり方が利用者の方にとってはちょっと手間に感じてしまうような部分もあるのかもしれないんですけれども、このアンケートを取る意義なども考慮して、指定管理者においてアンケートの取得率を向上いただけるような方策などを考えていただけるように協議したいと考えております。

以上でございます。

【望月委員】 ありがとうございます。

【石井部会長】 観音寺委員、どうぞ。

【観音寺委員】 今の質問とちょっと重複するんですが、私も今の3つ目の質問のアンケートのところがちょっと気になりました。今の回答を聞く限りでは今後ということですが、以前はいわゆるグラウンド利用の方以外にもスタジアムの観客でマリーンズの会員さんにやっていたのかなと記憶しています。資料だと7-5の37ページにもアンケートらしき項目を見つけたんですけれども、ただ、これで聞いている内容もリモート応援チケットを知っているかとか購入したかとか、どこでしたかぐらいしかなくて、一般利用とは別に観客として、たしか以前はたばこの話だとかドリンクホルダーがどうかあった気がするんですけれども、やめちゃったのかなという気がしています。当然イベントでの参加者も多くおりますが、メインは野球を見に行く観客が多くいると思いますので、この指定管理の中で多くのお客さんがいらっしやっているところに対してのアンケートがないというのは若干気になるころではあります。

それと、あわせてこれも先ほど指摘がありましたけれども、いわゆるイベントごとですよね。今回でいえば、例えばウェディングフォトとかナイトヨガとかプロポーズ利用とかいろいろ新しい取組を始めたということがありました。例えばナイトヨガの参加者にはアンケートの御協力をお願いするだとか、そんなにそれは難しいことじゃないかなと思うんですよね。こういうイベントに

わざわざ来ていただいている方々なので、また、これは今回トライアルなので皆さんの御意見を本当に大事にしてこれからも継続していきたいです。よみたいな話をすれば、それで断る人はあまりいないと思ってます。何だったらペットボトル1本サービスするとかいろんなコロナ禍で模索されたことは多いと思いますので、そのあたりでなるべく消費者とか利用者のニーズを把握できるような、また、そういうノウハウとかも多分ある会社さんだとは思っていますので、ぜひそういうところにも力を入れてほしいなというふうに感じました。

以上です。

【石井部会長】 今のアンケートの件なんですけれども、球場の観客に球場を見るための施設等についてのアンケートは確かに今観音寺委員が言われたように前にあったと思うんですけれども、今は全然やっていないんですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 説明が不足しておりましたが、このウェブアンケートは球団が要は興行主として取っていた部分と、指定管理者の側面から聞いていた質問が混在してしまっていた関係で、球団より今回の報告の中では差し控えたいという話もあり、省かせていただいた経緯がございます。

ただ、今御指摘いただいたとおり球場利用のほとんどの方はプロ野球興行を見に来ていただく方々なので、そういった方々からの意見というのはもちろん大事にすべきですから、今年度からのアンケートの仕方についてはよくよく協議をして、そういった指摘のないような形で進めたいなというふうに考えております。ということで、今回は物足りない形になってはいますが、どうかひとつ御了解いただければなというふうに考えております。

【石井部会長】 令和4年度もアンケートそのものは球場の設備についてやったんですけども、ここに出していないということになるんでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 さようございます。

【石井部会長】 そうすると、令和5年も同じことになってしまう。

【公園管理課運営調整担当課長】 いいえ。今年度からその御指摘を踏まえた形で改善していきなというふうに考えておりますので、来年度の報告のときにはきちっとした形でお出しできるかと思います。

【石井部会長】 そのほか。どうぞ。

【霞委員】 よろしいですか。ちょっと何点かあるんですけれども、さっき御説明の中で光熱水費の増加の御報告がありまして、これは単価と数量の増加があったと思うんですが、多分電気代だと思うんですね。電気代の単価がどれくらい上がったとか、数量的にどれくらい増えたとかというのは分析されていますでしょうか。

【公園管理課】 指定管理者のほうに聞き取りをした経緯がございまして、電気代のほうが10月以降、基本料金が3.6倍に上がったというふうに……

【霞委員】 単価で3.6倍ですか。

【公園管理課】 そうです。ここにさらにかかってくる。契約している電気会社からのそういったこともありまして、上がったというような。10月以降というのは、通常この施設はあまり電気代がかかってこないはずのものではあるんですが、そういったこともございましたので、例年のシーズンオフに比べて光熱費は上昇しているといった実態がございまして、御指摘のようにやはり光熱水

費に関しては、施設も大きいですので、影響を受けているところでございます。

【霞委員】 これは5年度計画にはどのように反映されていらっしゃいますか。

【公園管理課】 計画に関しましては、原則といいますか、基本的には令和3年度から現在の指定管理期間が始まっているんですけども、その前に非公募でこの指定管理者を選定いただくに当たって、提案という形で向こう5年間の収支計画というのを一旦出していただいている経緯がございます。基本的にはそれにのっとった形で上がってくるという原則の下、出していただいている状況がございます。

ですので、光熱水費に関しましては、令和5年もまた実は今年も値上がりするような話が電気会社さんから来ているように伺っているんですけども、計画比での支出の赤字の幅がさらに広がるのかなというふうに考えております。

【公園管理課】 ちょっと補足を。同じく公園管理課です。

【石井部会長】 お願いします。

【公園管理課】 指定管理者制度の中でリスク負担の考え方というのがあります。その中で需要の変動による単価の上昇というのは、リスクの負担が指定管理者になってしまいます。ですので、今回の霞委員のおっしゃられた計画というのは、受託事業における光熱水費の割合が上がっているのかという御質問かと思うんですが、その部分は本来指定管理者が負うべきものですので、そこには反映できないというような制度上の仕組みもございます。

以上です。

【石井部会長】 馬場委員、何かございますでしょうか。

【馬場委員】 では、1つ。一般利用でウェディングフォトとかナイトヨガとか新しい取組をされていると思うんですけども、これはマリーンズ自体が企画してやっているものなんですか。それとも外からの持込みで、こういうのをやりませんかとどこかから持ち込まれたようなものなんですか。

【公園管理課】 ナイトヨガのほうに関しては、別に主催者さんがいらっしゃいます。ウェディングフォトのほうは協力といいますか、関係しているウェディングドレス業者さんがいらっしゃるように伺っておるんですが、マリーンズのほうで例えばキャラクターを出したり、ちょっとした演出をしたりというのを中心となってやっているというふうに伺っております。

【馬場委員】 それも全て収入と支出に入っているという感じなんですか。

【公園管理課】 必要経費等もございますので、興行の支援というふうな形で計上しております。

【馬場委員】 ごめんなさい、追加で。一般利用は入場料とかいろいろ料金を取ると思うんですけども、やると売上げになるんですか。それとも経費のほうがかかるから、やればやるほど赤字になる構造なのか、その辺ちょっと気になったので、すみません、分かる範囲でと思いました。比較的多少低料金にいろいろされているんじゃないかなと思ったので、増えれば増えるほど実は赤字になるような、そういう事業なのかなと。一般的にそういうスポーツイベントが多いので、どうかなと思って、すみません。だから、利用者が増えればいいというものじゃないものもあるのかなと思ったので、すみません、ちょっと気になって聞きました。

【公園管理課】 そのあたりは、詳細に確認はしていないんですけども、委員のおっしゃるようにそういった傾向はあるのではないかと思います。

【馬場委員】 ありがとうございます。以上です。

【石井部会長】 すみません、資料1、今日配付のもの、この見方でちょっと教えてください。まず、一般利用（アマチュア）、それから、イベント等（アマチュア以外）とあります。プロ野球での入場者はイベント等（アマチュア以外）の中に入ってくる、利用件数もそっちに入ってくるということでもいいでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい。そうです。

【石井部会長】 そうすると、この一般利用（アマチュア）の枠の中に利用件数21、プロを除く件数19とあります。4月です。2件はプロが使った数だということになるんですか。そうすると、何でプロが使ったのに一般利用というところの利用件数に入れているのかという疑問があるんですけれども。

【公園管理課】 こちらなんですけれども、利用件数全体、4月でいうと21、プロを除く件数19とございまして、この差はちょっと整理が分かりにくかったかもしれないんですけれども、プロ野球、主にマリーンズがグラウンドを練習で利用した際のものに関しましては、イベント等の興行という整理はせずに一般利用のほうで計上してきたような経緯がございまして、このような形での整理となっております。

【石井部会長】 そうすると、上の一般利用（アマチュア）であるから、もうもともとプロは入らないんじゃないかと思えてしまうんですけども、マリーンズが練習した場合はここの一般利用に入っているんだと、そういうことなんです。

【公園管理課】 非常に分かりにくかったかなと思うんですけれども、そういったような表の作りになっております。

【石井部会長】 どこかでプロの練習を含むとかとあれば分かりやすいのかなとちょっと思いました。

それから、高校野球で観客、令和4年はまだ制限が一部あったと思うんですけれども、その高校野球の観客は一般利用（アマチュア）の中の入場者数に入ってくるということによろしいでしょうか。

【公園管理課】 はい。そのようになります。

【石井部会長】 そうすると、令和5年度は高校野球の関係も相当増えるでしょうから、ここの数は相当増えますと。目標に近づきますということによろしいでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 と思われまして。

【石井部会長】 資料7-1の3ページの収支状況に関連するところなんですけど、必須業務で指定管理料の支払いをしていないけれども、この必須業務のところの収支で5億7,772万6,000円マイナスになっていると。簡単に考えると、この分はマリーンズが実施事業の中から出た利益をもって、市のほうに利益還元しているというように捉えることもできるんじゃないかな。

【公園管理課運営調整担当課長】 収支を見合わせているというふうな状況かと理解されます。

【石井部会長】 それから、その下を書いてある利益還元として広告看板収入より行政財産目的外使用料の納付があるということですが、これはどのぐらい納付されているんでしょうか。

【公園管理課運営調整担当課長】 広告料だけを見ても2億7,600万円ほどで、資料7-6の後半、かなり分厚い資料で、すみません、ちょっと厚みがあるんですが、後ろ半分の方に収支

報告書という部分があるんですけども、これは資料7-6の後半に収録されています。その35ページに自主事業業務の収支内訳書というような指定管理の様式ですが、入っております、その右側に事業費の内訳で広告看板という項目があると思うんですけども、そこに行政財産使用料というものが書かれています。それが今申し上げました2億7,600万ということで、数字として書かれています。

【石井部会長】 その分もマリーンズのほうから千葉市に対して利益を入れているんだということでもよろしいでしょうかね。

【公園管理課運営調整担当課長】 はい。

【石井部会長】 それから、資料7-1の4ページの一般利用による利用者数、来場者数のところで、特記事項としてグラウンド開放が行えなかった期間があったということで、その分、来場者数が減少しているんだと思うのですが、このグラウンド開放が行えなかった期間というのは、いつ、どのぐらいだったのかと。そこをもし通常どおり使っていたとしたら、どの程度増えたのかというのは分かりますでしょうか。

【公園管理課】 施設の稼働状況に関しましては、資料7-6の手前のほうの33ページになるんですが、その中に先ほども少し見いただきましたが、表が4つ縦に並んだページになります。その中でシーズンオフ、チームがキャンプに行っているような2月の公共工事を中心に千葉市ですとか、あるいは指定管理者のほうでも施設の修繕をしております、グラウンドを開放しないものとしている状況がございます。

それから、同じ表の中でそのほかにもグラウンド開放を行わなかった日がございます。今回、今御指摘の成果指標につきましては、今指定管理期間から導入した成果指標になりまして、あまり詳細な過去のデータがあるわけではありませんが、ただ、この期間ももし一般利用に供することができていたとしますと、マリーンズの利用の影響を受けませんので、1日枠が5枠あるんですが、そこで2チーム参加いただけますと、それなりの利用者の数というのが見込めたかなというふうに考えております。

【石井部会長】 令和5年度は同じような修繕でグラウンド開放を行えない期間というのは見込まれるんですか。それはあまりない。

【公園管理課運営調整担当課長】 かなり老朽化が進んできている中で細々とした修繕、それから、屋根の下にスピーカーボックスという設備があるんですが、そちらのほうの修繕なんかも予定しておりますので、ちょっと日数はまだ定かじゃないんですけども、ある程度利用上の制約というのはどうしても発生してしまうと、そういう想定をしております。

【石井部会長】 そのほか、何か御質問のある委員の皆様はいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、1、公の施設の基本情報から7、総括、(2)市による評価については以上で終わります。

続きまして、7、総括、(3)都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、次年度以降の管理運営をより適切に行うための意見または助言など、委員の皆様、よろしくお願いたします。

観音寺委員、お願いします。

【観音寺委員】 先日視察させていただいたときにも感じましたけれども、子供向けの施設というか設備というか機能というか、つくっていらっしゃったり、増員の取組ですとか、また、このシートにありましたAEDの話だとか、やはりいろいろと御努力されているのかなと感じました。コロナで厳しい時期も少し緩和している中で、これから過去3年の厳しかったものを取り返していくのかなという中で、引き続き丁寧な管理と、それから、先ほど指摘させていただいたお客様のニーズを積極的に拾いながら、より改善して、よりお客様、市民を含めてレジャーとかエンターテインメントの場としての千葉ならではの資源ですので、頑張ってくださいなと思います。

以上です。

【石井部会長】 霞委員、いかがでしょうか。

【霞委員】 私は初めて参加させていただいておりますけれども、ちょっと私は存じ上げなかったので、千葉市のこういう野球場の運営ですね。非常に画期的な取組をされているんだなということで改めて感心いたしまして、今観音寺委員も言われたように、引き続きこのまま進めていただければと思っております。

【石井部会長】 ありがとうございます。

望月委員。

【望月委員】 先日視察させていただきまして、いろいろな取組を非常に積極的になされていることは実感しております。しかし、先ほどのアンケートでは、今回努力されていることが結果として見えにくくなっているので残念に思いました。来年度以降、その点を改善頂けることを、期待しております。

【石井部会長】 馬場委員、いかがでしょうか。

【馬場委員】 私は仕事柄よくマリンスタージアムに行くんですけども、日ハムのエスコンフィールドみたいにはいかないと思うんですが、ぜひボールパークという発想でさらにサービス向上に努めて、施設としてのサービス向上に。単に野球を見に来るだけじゃない、いろんな人を誘って見に行きたくなるような、何かそんな球場をぜひ目指していただけたらなというふうに思います。

あと、今どうしても野球人口そのものが減ってきていますし、野球をする子供も減ってきていますので、一般利用としての野球をするという場面はどんどん縮小してくるなというのはもう目に見えているので、ほかにも球場の使い道みたいなもの、それも収益の上がる使い道、X g a m e sで見に行けなかったんですけども、自転車とかスケボーとかあいうのも含めて、球場だけでも新しい利用の仕方ができたらいいんじゃないかなと思いますので、ぜひ頑張ってくださいなと思います。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、最後に私からですけども、千葉市が評価でBとしているとおり、我々としても市が指定管理者に求める水準を上回る管理運営、これは行われているのだろうと考えております。先日の視察の際にも前よりも若干きれいになっているのかなというような印象もありましたし、引き続き適切な管理運営を行っていただきたいなと思います。

あと、ほかの委員の方からも出ていますけれども、適切なアンケートをちょっと工夫していただいて、それが出てこないこちらでも実際使っている人とかそういった方々の意見はどんなものがあるのか分からないですし、マリーンズのやったことがいい方向に行っているのか、それとも批

判的な意見もあるのか、そういったところもアンケートからじゃないと分からない部分はあると思いますので、その辺は工夫してお願いしたいなと思います。

7、(3) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほどまでにいただいた御意見も踏まえて、部会の意見といたします。

最後に、資料7-7、7-8、指定管理者財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況について意見交換を行います。

一部の資料は一般に公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例施行規則第12条第1項第2号及び千葉県附属機関の会議の公開に関する要綱第2の1の規定により、ここから会議は非公開といたします。

(経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

【石井部会長】 ありがとうございます。

では、ここからの会議は公開にしたいと思います。

以上で議題(2) 千葉マリスタジアム(ZOZOマリスタジアム)の年度評価についてを終わります。

それでは、続きまして、議題(3) 千葉市蘇我スポーツ公園[蘇我球技場(フクダ電子アリーナ)、多目的広場(フクダ電子スクエア)、庭球場(フクダ電子ヒルスコート)、第1多目的グラウンド(フクダ電子フィールド)、第2多目的グラウンド(フクダ電子グラウンド)、円形野球場(フクダ電子スタジアム)、第1駐車場、第2駐車場、第3駐車場、公園園地]、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等[第3多目的グラウンド(フクダ電子ゴルフパーク)、公園園地]、及び千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等[スケートパーク(フクダ電子ボードエリア)、第4駐車場、公園園地]の年度評価についてに入ります。

なお、議題の名称が長いため、以下、施設名称で表現いたします。

まず、資料8-1、9-1及び10-1「令和4年度指定管理者年度評価シート」、1、公の施設の基本情報から7、総括、(2)市による評価について事務局より御報告をお願いいたします。

【公園管理課運営調整担当課長】 では、説明につきましては引き続き私のほうから説明いたします。

資料8-1から10-1まで続けて御説明させていただきたいと思います。少し長くなりますが、よろしく願いいたします。

では、資料8-1からお開きいただけますでしょうか。

まず初めに、公の施設の基本情報でございます。施設の名称は千葉市蘇我スポーツ公園です。

ビジョンは3点。1つ目は、広域的なスポーツ拠点及び市民スポーツ振興の拠点として、それぞれの施設の特徴を生かし、大規模な大会から市民の利用まで幅広く受け入れ、市におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、市民の健康・体力づくりに寄与するとともに、地域コミュニティとしての交流機能を発揮するための拠点となる施設を目指す。2つ目は、蘇我球技場を中心に、集客スポーツ施設としてトップスポーツの誘致や大規模イベントの開催など地域(経済)活性化に寄与する。3つ目は、公園全体が防災拠点として位置づけられていることから、災害時の防災拠点となる施設を目指すとしております。

ミッションは4点。1つ目は、市民の競技スポーツ育成・発表の場として、スポーツの振興、競技力の向上、市民交流の拠点施設として、市民総体や全市規模の大会の誘致開催を目指すとともに、市民のスポーツ利用の場を提供する。2つ目は、蘇我球技場を中心に、トップスポーツの拠点施設として、ホームゲーム開催やホームタウンの推進に寄与する。3つ目は、市民のスポーツ・レクリエーション振興のため、また地域のコミュニティの場として、市や区の催しや大規模なイベント等の開催場所を提供する。4つ目は、非常時には広域防災拠点として、その機能を発揮できるよう管理を実施するとともに、協力体制を構築するでございます。

成果指標と数値目標ですけれども、蘇我球技場と蘇我球技場以外のスポーツ施設それぞれについて設定しております。蘇我球技場については、1つ目として利用者数及び入場者数が年間34万5,000人以上、2つ目としてフィールド稼働日数が年間80日以上としております。また、蘇我球技場以外のスポーツ施設については、利用者数が年間42万人以上、施設稼働率については多目的広場、これはフクダ電子スクエアのことですが、65%以上、庭球場、これはフクダ電子ヒルスコートのことです68%以上、第1多目的グラウンドはフクダ電子フィールドのことです65%以上、第2多目的グラウンドはフクダ電子グラウンドのことです32%以上、円形野球場、これはフクダ電子スタジアムです52%以上としております。

2ページをお願いいたします。

次に、2の指定管理者基本情報ですが、指定管理者名はSSP UNITED、構成団体は記載のとおりとなっております。指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間でございます。

3の管理運営の成果・実績です。

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況ですけれども、蘇我球技場については、利用者数及び入場者数で指定管理者が定めた目標が年間35万人以上、市の定めた目標が34万5,000人以上で、令和4年度の実績が18万4,395人でした。達成率はそれぞれ52.7%、53.4%となっております。フィールドの稼働日数は年間80日以上ですが、実績は62日、達成率は77.5%です。

続いて、蘇我球技場以外のスポーツ施設についてですが、まず利用者数は指定管理者が定めた目標は年間45万人以上で、市の定めた目標が年間42万人以上、実績は50万7,906人でしたので、達成率はそれぞれ112.9%、120.9%となっております。

次に、施設稼働率ですが、多目的広場は指定管理者が67%、市65%の目標に対しまして実績が68%で、達成率はそれぞれに対して101.5%、104.6%となっております。庭球場は指定管理者68%の目標に対して実績が58.9%、達成率としては86.6%となっております。第1多目的グラウンドは指定管理者66%、市65%の目標に対して実績が60.2%となっており、達成率はそれぞれ91.2%、92.6%でございます。第2多目的グラウンドについては指定管理者32%の目標に対して実績は44%、達成率は137.5%となっております。円形野球場ですが、指定管理者52%の目標に対して実績が35.1%、達成率は67.5%となっております。

3ページを御覧ください。

収支状況でございます。1の必須業務収支状況ですけれども、収入については指定管理料、利用料金収入、その他収入の合計で4億1,267万1,000円でございます。計画と実績の差異ですけれども、利用料金収入については計画に対して実績が2,621万円上回っておりますが、これは主として

令和4年8月に開催されたROCK IN JAPAN FES.の開催に伴う料金収入の増加によるものです。その他の収入については、指定管理者が自主事業として実施している売店、自販機の営業に係る光熱水費、その他の事業者による自販機営業などの負担金収入を計上しておりますけれども、令和4年度につきましては、さきの音楽フェス開催に伴う光熱水費が含まれております。

次の支出でございますけれども、人件費、事務費、管理費、委託費の合計で3億8,781万3,000円となっております。計画と実績の差ですけれども、人件費については315万7,000円の増となっております、これはイベントの増加による経費の増加によるもので、事務費についていうと413万5,000円の減、これは広告宣伝費、保険料の減によるものでございます。管理費については943万3,000円増えておりますけれども、これは光熱費単価の増によるものでございます。

4ページをお開きください。

(2)の自主事業収支状況です。アの収入は1億1,807万1,000円、イの支出は9,546万8,000円です。

(3)の収支状況ですけれども、必須業務の収支については2,485万8,000円の黒字、自主事業の収支については2,260万5,000円の黒字となっており、全体の収支は4,746万3,000円の黒字となっております。

利益の還元につきましては、ほかの2つの指定管理と一体で算出を行っておりますので、最後のスケートパークの説明のときに申し上げたいと思います。

それでは、5ページのほうを御覧ください。

5の管理運営状況の評価でございます。(1)の管理運営による成果・実績ですが、蘇我球技場についてですけれども、①利用者数及び入場者数年間35万人以上、市の目標34万5,000人以上に対して、評価はEとしております。②についてはフィールド稼働日数年間80日以上に対し、評価はDとしております。利用者数、入場者数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大会等の中止やJリーグの観客数の減少などによるもので、フィールド稼働日数はJリーグオフシーズンに実施した照明設備の改修工事によってフィールドの使用ができなかったことが要因というふうに考えております。

続いて、蘇我球技場以外のスポーツ施設ですけれども、①の利用者数年間45万人以上、市の目標42万人以上に対して、評価はBとなりました。②の施設稼働率の評価につきましては目標の達成状況から、多目的広場から第1多目的グラウンドまでがC、第2多目的グラウンドはA、円形野球場がDとなっております。

次に、(2)の市の施設管理経費縮減への寄与ですが、選定時の提案額と同額のためCとなっております。

6ページを御覧ください。

(3)の管理運営の履行状況でございます。指定管理者による自己評価は2の(2)をBとしているほかは全てCとなっております。市の評価については、2の(2)及び(3)をBとしたほかはCとしております。

なお、2の(2)の評価については後ほど評価の修正を行っておりますので、説明させていただきたいと思いますが、資料8-4をお開きいただけますでしょうか。

8-4の3ページ目に今の2の(2)の評価の項目があると思います。そちらを御覧ください。

すと、右側から3列目の評価がB、これが本来モニタリングで導き出される評価になるんですが、それに対し市のほうでCという評価に修正を行っております。その理由については右側に書かせていただいておりますとおり、コロナ禍により実施できていない事業が多かったことと、それから、フクダ電子アリーナのアンケートにつきましては、前年度に引き続いて行われていなかった、ゼロだったということを経由して評価のほうを下げしております。

それでは、先ほどの資料8-1にお戻りいただけますでしょうか。7ページのほうにお戻りください。

(4)の都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。昨年度の年度評価の際にいただいた御意見に対する対応、改善の内容ですけれども、ちょっとこの記載の内容の修正がございますので先に申し上げますと、評価対象年度が今は令和4年度となっておりますが、これはいずれも昨年度の3年度に対する評価としていただいたものだと思いますので、3に修正をいただけますと幸いです。よろしく申し上げます。

それでは、説明に戻りますが、1つ目の新たに供用した施設を含めて、公園全体を一体としたよりよい管理運営に努めることという御意見に対しましては、昨年度まで委託していた植栽管理を一部自営で行いまして、一体的に公園内の美観向上に努めております。また、毎年問題となる駐車場の混雑を回避するために、施設間で情報共有をして、令和5年度の行事調整の際に大型イベントが重ならないよう調整する試みを開始いたしました。

2つ目のフクダ電子アリーナの芝については、プロが使う球技場としてさらに徹底した管理をすることという御意見をいただいておりますが、これに対しては、Jリーグピッチ評価の結果は昨年シーズンから変化はなかったんですけれども、資材及び使用方法を検討した結果、芝の状態は向上しつつあるというふうを考えておりまして、試合による損傷の軽減につながっている状況です。

3つ目の、音楽フェスの利用者だけでなく、運動施設本来の利用目的での利用者が増えるよう努めることとの御意見については、令和4年度も新型コロナウイルスの影響により大規模イベント、これは大規模なスポーツの大会という意味なんですけれども、これらの実施には様々な課題があって大幅な利用者増にはつながっておりませんでした。令和5年度はスポーツの振興に資するような様々なイベントを企画・実施してまいりたいと考えております。

4つ目ですが、音楽フェス等のイベントと運動施設本来の利用者数の考え方を分けて整理することについてですが、全体の利用者数と音楽フェス・運動施設利用に分けて数字を整理しまして、運動施設利用者の動向等を集計いたしました。この集計については、お手元に配付させていただいた参考資料2を御覧いただきたいと思っております。

先ほどマリスタジアムのときに1枚目を御覧いただきましたが、2枚めくっていただいて資料3と右側に書かれているものになります。上段が利益還元計算シートになっていて、また後ほどの御説明で使用いたしますが、その下に音楽フェス利用者まとめという集計表を掲載しております。

各施設ごとに年間利用者が何人いたか、その内訳としてJAPAN JAM2022、ROCK IN JAPAN FES. 2022と2回の音楽フェスでそれぞれ何人来られたか、その差引きになるんですけれども、実の施設利用者数がどれほどいたかと、そういう区分をした数字となっております。その下が全体の集計ということになっておりますので、ちょっと併せて御覧いただければと思います。

この資料についての説明は以上となります。

ちょっと元にお戻りいただきてよろしいでしょうか。また7ページを御覧ください。

6の利用者ニーズ・満足度等の把握でございます。(1)の指定管理者が行ったアンケート調査ですけれども、まず令和4年度についてはフクダ電子アリーナのアンケートは実施していないと。先ほどの評価のところでも申し上げましたように、そういう指定管理者からの報告がありました。その他の施設については、従前はフクダ電子スクエア管理棟とフクダ電子ヒルスコート管理棟のそれぞれの窓口において通年で施設ごとの調査を実施しておりましたが、令和4年4月に全面的にこの公園がオープンしたこともありますので、全ての施設で利用者の属性や管理運営に関する基本的な項目などの質問項目を共通化するなどして、10月から12月にかけて統一的なアンケートを実施しました。

なお、評価シート内の記載では従来のアンケートと区別するため、期間アンケートと表現しております。

実施内容ですけれども、調査方法、回答者数、質問項目は記載のとおりで、その結果については、今回の集計は管理棟ごとに行っておりますけれども、スクエア管理棟で行ったアンケートにつきましては、サッカー、野球の利用者が対象となっております。いずれの施設につきましても、男性の利用者の割合が多いという結果になっておりますが、サッカーで利用されることの多いフクダ電子スクエアとフィールドの利用者については、半数以上が10代、約半数が市内在住ということでございました。

それから、少年野球での利用が中心となっているグラウンドの利用者については、20から50代が多くて、77%が市内在住となっております。自由記述の欄では、サッカー利用者から人工芝の状態、雨よけ、日よけ、それから、水道設備、早朝開放、シャワー設備、グラウンド等でサッカーをしたいなどの要望があったほか、野球利用者からは備品の充実、グラウンド状態への意見、キャッシュレス決済の導入、トイレ・水道・ベンチ・喫煙所の設置などの要望をいただいております。

次に、テニス利用者の受付窓口であるヒルスコート管理棟で行ったアンケートについては、利用者の大部分を女性が占めておまして、年代もシニア層が半数以上となっております。

なお、通年アンケートでは幅広い世代から御回答いただいております、中でも40代から60代がそれぞれ3割弱を占めています。市内在住者が多くて、自由意見では、改修直前であったこと、昨年度は20面中10面の人工芝の張り替えを行っておりますけれども、その改修直前のアンケートであったので、人工芝の補修をしてほしい、駐車場に関する要望などが回答されておりました。

次に、8ページを御覧ください。

(2)の市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございます。1つ目のフクダ電子フィールドの人工芝の状態不良に関する意見につきましては、人工芝の耐用年数は10年とされておりますけれども、当施設はジェフ千葉レディースやユースチームの練習に使用されるなど、一般的な施設よりも消耗劣化が進行しやすい実情があります。適宜職員等により部分的な補修を行っている状況です。

2つ目の日陰・雨よけが少ないについては、これまでも御意見をいただくことがありましたけれども、会議室を無料で開放して熱中症や熱中症になりかけた利用者の休憩場所として御利用いただいております。

なお、突発的な発雷の際は、フクダ電子アリーナの軒下を開放して避難誘導を行っております。
次に、7の総括でございます。

指定管理者による自己評価はCとなっております。所見について要点を申し上げますと、おおむね管理運営の基準にのっとり良好に管理運営を進めている状況です。ただし、フクダ電子アリーナの集客人数については回復傾向にあるものの、コロナ禍前の水準には程遠い状況です。また、フクダ電子アリーナの照明設備改修工事の実施により、全国高校サッカー選手権が開催できなかったことも目標未達の大きな要因として挙げられます。

しかしながら、JAPAN JAMに続きROCK IN JAPAN FESTIVAL2022を誘致し、文化振興、地域振興に大きな役割を果たしたと考えるとのことです。

次に、市による評価ですが、こちらもCとしております。令和4年度は2つの音楽フェス、9月に行われた九都県市合同防災訓練の中央会場として非常に過密なスケジュールの中で、市関係者との調整を測り、安全確保や利用調整に努められたような状況です。園地管理を一部直営化したことで細やかな管理が行われ、美観維持、利用者のサービス向上に貢献し、利用者から高い評価を受けております。

一方で、フクダ電子アリーナのアンケートは、基準として定めた4回の実施ができず、その他の施設を含めて改善を進めているところであります。4年度につきましては、成果指標で基準に満たないものもありましたが、非常に高い水準の管理ができている施設もあることが評価できるものと考えております。

以上で資料8-1の説明を終わります。

続きまして、資料9-1「第3多目的グラウンド等の年度評価シート」の説明を行います。

では、お開きいただけましたでしょうか。先ほどの資料8-1と説明が重複する部分については、適宜省略をさせていただきます。

初めに、1の公の施設の基本情報ですけれども、施設名称は千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等、ビジョンですが、資料8-1の記載から蘇我球技場に関する内容を除いたものとなっております。ミッションですが、記載のとおり4点ございます。成果指標と数値目標についてですが、利用者数が年間4万人以上、専用使用件数が年間150件以上となっております。

2の指定管理者の基本情報ですが、記載のとおりでございます。指定期間につきましては令和3年9月1日から令和7年3月31日までの3年7か月でございます。

3の管理運営の成果・実績ですけれども、(1)の成果指標に係る数値目標の達成状況ですが、利用者数は年間4万人以上、実績は4万1,169人で達成率は102.9%、専用使用件数は年間150件以上、実績は30件で達成率は20%となっております。

2ページを御覧ください。

収支状況です。1の必須業務収支状況ですが、収入は指定管理料及び利用料金収入で合計5,227万2,000円となっております。計画と実績の差異ですけれども、指定管理料については計画と実績が同額で、なお、提案に対して計画が220万円上回っているんですけれども、これは当施設の追加に伴って管理項目が追加となったことから、管理運営の基準が一部変更となりまして、指定管理委託料を増額しております。利用料金収入につきましては、計画に対し892万8,000円下回っておるんですけれども、これは利用が伸びなかったためとなっております。

次に、支出ですけれども、合計で6,003万2,000円でございます。計画と実績の差異ですが、管理費は計画に対し実績が115万8,000円上回っております。これは仕様変更に伴う施設管理費が増加したためというふうに考えております。委託費は計画に対し実績が291万1,000円下回っておりますけれども、植栽管理を直営化したことにより経費が縮減されたものでございます。

3ページのほうを御覧ください。

自主事業の収支状況です。収入は115万7,000円、支出は1万5,000円となっております。

(3)の収支の状況ですが、必須業務の収支は776万円の赤字、自主事業の収支は114万2,000円の黒字となっております。先ほど同様、利益の還元につきましてはスケートパークのときに御説明申し上げたいと思います。

次に、5の管理運営状況の評価です。(1)の管理運営による成果・実績ですけれども、①の利用者数年間4万人以上については、市の評価がC、次に②の専用使用件数の年間150件以上については、市の評価はEとしております。

4ページを御覧ください。

(2)の市の施設管理経費縮減への寄与です。これは仕様変更による指定管理委託料の増額分を除きますと、選定時の提案額と同額のため評価はCとしております。

(3)の管理運営の履行状況ですけれども、指定管理者による自己評価は、2の(2)と3の(1)がBとなっているほかはCとなっております。これに対して市の評価は、4の評価をBとしているほかはCとしております。4の評価につきましては、2回のモニタリングに基づく評価シートによる評価ではCとなっておりますけれども、市の施策への協力として令和5年度以降、教育委員会の事業として行っているふれあいパスポートへの協力として、土曜日の小中学生のパークゴルフの利用を無料化することと決定したことを踏まえて、Bとしております。

なお、特記事項については指定管理者の意見をS、市の意見を市として記載しておりますので、御参照ください。

5ページを御覧いただけますでしょうか。

(4)都市局指定管理者選定評価委員会の意見を踏まえた対応でございます。ここで訂正がありますが、先ほどのシートと同様、意見対象年度の令和4年度となっているところを3年度に修正をお願いいたします。申し訳ございません。

1つ目の供用時間の拡大やシフト変更を柔軟に行うなど、季節に合わせ早朝や夕方などの利用しやすい時間帯を設定することという意見については、大会等の専用利用が少なく、供用時間の拡大には至っておりませんでした。夏季の早朝利用などもニーズが見込めるんですが、音楽フェスの開催により実施が難しい状況です。利用者を増やす取組としてどのようなことができるのか、改めて検討を行うこととしております。

2つ目の利用者目線に立ちながら、利用者数が増えるよう努力することという御意見につきましては、市内の小中学校に施設案内のチラシを配布して広報に努めるとともに、3種目の競技に必要なレンタル品を追加補充し、用具待ちでスタートできない状況を解消して、利用者のキャンセルを防ぐよう努められました。

3つ目の音楽フェスでの利用者ではなく、運動施設本来の利用目的での利用者数が増えるよう努力することの御意見については、11月に実施した市内小中学校へのチラシ7万枚の配布で利

用が増加している状況です。子供のみならず保護者も同伴で来園されるなど、ファミリー層による利用拡大が図られたようなところがあります。

4つ目、音楽フェス等のイベントと運動施設本来の利用者数の考え方を分けて整理することとの御意見については、資料8-1の説明時に申し上げましたが、お手元の参考資料2の3点目の資料を御覧いただきましたが、その記載のとおりとなっております。

資料8-1の説明を続けさせてもらいますが、6の利用者ニーズ・満足度等の把握でございます。(1)の指定管理者が行ったアンケート調査ですが、実施内容は先ほどの資料8-1の説明のとおりですが、10月と12月の2回、期間アンケートを実施いたしました。その結果、計66件の回答が得られております。利用者の属性に関して男女比は半々で60代以上が8割を占め、約7割の方が市内在住者でございました。満足度については65%が「満足」、「やや満足」と回答していらっしゃいます。

自由意見として、3種のゴルフの違いが分からない、日よけ・雨よけ・手洗い場がほしい、コースの変化が乏しいといった御意見が寄せられております。

また、12月に2回目として行ったアンケートについては、市内の小中学校にチラシを配布した効果と考えておりますけれども、男女比は半々、中学生以下が半数を占めて、約9割が市内在住という結果でございました。親子での利用が半数を占めて、来園のきっかけは学校配布のチラシ45%ということでございます。

自由意見では、9ホールでの料金設定がほしい、自動販売機を設置してほしい、駐車場を安くしてほしい、テントなどでの休憩所、御飯が食べられる場所がほしいといった御意見、御要望がありました。

(2)の市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応でございます。

1つ目の3種のゴルフの違いが分からないとの御意見ですけれども、パンフレット等を使用しながら個別に説明を実施したとのことでした。2つ目の9ホールのみでの料金設定がほしいとの御意見については、今後も継続的に御要望が出てくれば自主事業で対応できるか検討を行うとのことでした。3つ目の休憩、食事する場所がほしいとの御意見については、ベンチの設置について検討を行うということでした。

6ページを御覧いただけますでしょうか。

7の総括となります。指定管理者による自己評価はCとなっております。利用促進の施策により、スポーツ施設としての利用者の増加は認められ、一定の評価には値すると思えます。さらなる積極的な施策を行い、利用者増、特に競技団体による専用利用増加を継続課題として取り組む必要があると考えています。一方で、家族の憩いの場としての認知が進んできている印象が強く、専用利用とのバランスについても改めて考察していくとのことでした。

これに対して市の評価もCとしております。音楽フェス誘致により当初の目標人数には届いているんですが、本来利用の人数を増やすべく、小中学校へのチラシ配架を行い、若年層、家族層へのアプローチを積極的に行いました。当初想定していた高齢者や競技団体の利用は伸びておらず、専用使用件数は依然低い状況にとどまっておりますけれども、成果指標にこだわることなく、施設の在り方を検討して様々な取組を試みていることは評価できると考えております。

また、コースの芝の品質向上が図られておりますので、課題にも取り組みながら丁寧に維持管理

が行われていると考えております。

資料9-1の説明は以上となります。

長くて恐縮ですが、引き続き資料10-1の説明をさせていただきたいと思えます。

1の公の施設の基本情報でございますけれども、施設名称は千葉市蘇我スポーツ公園スケートパークでございます。ビジョンとミッションですけれども、第3多目的グラウンド等と同じ内容となっております。成果指標と数値目標についてですが、利用者数として年間9,500人以上となっております。

2の指定管理者の基本情報ですが、指定管理者名はSSP UNITED、指定期間については令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間です。

3の管理運営の成果・実績ですが、(1)の成果指標に係る数値目標の達成状況、これは利用者数は指定管理者の設定している目標が年間1万人以上、これに対して実績が1万4,882人で達成率は148.8%となっております。

2ページを御覧ください。

4の収支状況です。(1)の必須業務収支状況ですが、収入は指定管理料及び利用料金収入で合計2,518万円でございます。計画と実績の差ですが、利用料金収入は計画に対して実績が77万8,000円上回ったという結果となっております。

次に、支出ですけれども、合計で2,384万3,000円です。計画と実績の差異ですが、事務費が計画に対して11万3,000円増となっております。これは施設のPR動画の制作を行ったので、広告宣伝費の経費が増加したためでございます。それから、管理費については計画に対して実績が97万9,000円の減となっておりますが、これは供用開始の初年度であったので、主に修繕料がかからなかったことによるものと考えております。

3ページを御覧ください。

(2)の自主事業の収支状況です。収入が226万7,000円、支出が65万7,000円となっております。

(3)の収支状況ですけれども、必須業務の収支は133万7,000円の黒字、実施事業の収支は161万円の黒字となっております。ここで利益還元につきましては、先ほど御説明してまいりました資料8-1、9-1の趣旨を含めた全体で算定することとしておりますので、ここで参考資料2のほうを御覧いただきたいと思えます。

参考資料2の3つ目、資料3、上段の表で資料、利益還元計算シートでございます。これを見ていただきながら御説明を聞いてもらえればと思えます。

この表には先ほどからの施設名が左から千葉市蘇我スポーツ公園、第3多目的グラウンド、それから、スケートパークという3つが書かれておまして、その収支の合計が一番右側に書かれております。こちらの中でまず一番下の収支の額、4,379万2,000円という金額をまず御確認いただければと思うんですが、これが剰余金というものになります。この金額が基本協定上、一番上の必須業務の収入合計4億9,000万少し、それから、もしくは総収入、下から3つ目の数字です。6億1,162万円、それぞれの10%の金額を超えていた場合、その半分を利益還元するという約束になっております。そこで10%の金額を計算しますと、まず必須業務の収入合計が4,901万2,000円、それから、総収入の10%が6,116万2,000円となりまして、その金額が一番下の収支の額4,379万2,000円よりも多くなっておりますので、収支の金額はこれらを超えていませんから、利益の還元はないというこ

とになります。

ということで、再び資料10-1の3ページにお戻りいただけますでしょうか。

続きまして、5の管理運営状況の評価になります。施設利用者数年間1万人以上に対して達成率が148.8%でしたので、市の評価はAとなっております。

4ページを御覧ください。

(2)の市の施設管理経費縮減への寄与ですが、これは指定管理料が提案額と同額でしたので、市の評価はCとなっております。

(3)の管理運営の履行状況でございます。指定管理者による自己評価ですが、2の(1)と(2)、3の(1)と(3)、4の計5項目がBとなっており、その他がCとなっております。これに対し市の評価は、2の(2)、3の(3)、4の3項目がBとなっているほかはCとしております。

なお、特記事項については先ほどと同様、指定管理者の意見をS、市の意見を市として記載しておりますので、併せて御参照いただければと思います。

では、5ページを御覧ください。

(4)の都市局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応でございます。本件の選定時にいただいた御意見に対する対応、改善の内容ということになりますが、1つ目の競技への理解や配慮が必要なニュースポーツであるため、供用開始から利用者にマナーを守ってもらうように運営することという御意見ですが、すみません、記載のほうにちょっと誤字脱字がございまして、「マナーを守ってモラルように」と書いてあるんですが、「もらうように」の間違いでございますので、お手元で修正いただければと思います。すみません。

この御意見に対しては、開業前にマナーブックを作成し、施設及びショップ等に配布するとともに、大会やイベント等での告知、利用者のコミュニティでの発信も行いました。

2つ目の老若男女が利用したいと思えるような環境づくりに努めることという御意見については、毎月第3日曜日に市民団体と共同でインラインスケートなどのストリートスポーツを体験できるSSC、これはストリートスポーツキャンプの略だそうなんですが、体験会を実施しまして、気軽に参加や観覧できる環境をつくりました。

3つ目は、公園内全ての施設の管理をすることとなるため、引き続き市と協力していくこととの御意見については、市内初の公共スケートパークということで、市と相談しながら運営に当たりました。また、公園全体が指定管理となったため、市と協力しながら改めて公園利用のルール整備等を進めました。

4つ目の市のスポーツやレジャー・レクリエーション関係の施策と施設を絡めるなど、公園全体のにぎわいづくりに努めることとの意見については、12月に試験的に公園内にキッチンカーを設置するなど、にぎわいづくりのための手法を検討しております。イベントや大会時には各施設でも告知を行ったほか、ジェフ千葉についてはサッカー以外のイベントの際に副賞を御提供いただくなどの協力をいただいたり、公園全体でのにぎわい創出に取り組んでおります。

次に、6の利用者ニーズ・満足度等の把握です。

(1)の指定管理者が行ったアンケート調査ですけれども、本施設については昨年11月に実施しまして100件の回答が得られました。結果をかいつまんで申し上げますと、利用者の属性については男性が77%、女性が15%でした。年齢は10代から40代が多くて、20代が比較的多くなっております。

す。それから、約6割が市内在住で、次いで市原市、船橋市、習志野市の順に多くなっております。施設の利用方法やルールのご案内などについて伺ったところ、「とても分かりやすい」、「分かりやすい」が86%を占めております。多くの方には理解、周知ができたものと考えておりますけれども、「分かりにくい」と回答された方も一部いらっしゃいました。あったほうがよいというサービスについては、ごみ箱、自販機、スクールの開催、喫煙所、日よけ、雨よけについての設置についての御要望となります。

(2)の市の指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応ですが、1つ目の照明がほしいとの御意見ですが、ナイター用に仮設照明を指定管理者がリースして設置しております。2つ目の自販機を設置してほしいとの御意見については、市で公募を行い、令和5年4月から自販機を設置しました。3つ目の喫煙所、ごみ箱を設置してほしいとの意見については、市内公園は禁煙であること、持参したごみは持ち帰ってもらうルールであることを設置して、理解を求めました。4つ目の軽食がほしいという御意見については、公園内にキッチンカーを出店して、ニーズに応えつつ常時出店の可能性についても模索いたしました。

7の総括ですが、指定管理者による自己評価はBとなっております。すみません、次のページをおめくりいただけますでしょうか。開業前から関係者にヒアリングを行って、利用者マナーのよい施設を目指しております。初年度は大きな事故や利用者トラブルなどもなく運営できたと考えております。利用者数は1万人をクリアして、達成率は148.8%でありました。しかしながら、現状に甘えることなく、利用者の意見等々を反映し利用促進につなげるとともに、来年度に向けて稼働率向上の施策を継続検討していきますとのことです。

これに対して市の評価はBとしております。市内公共施設として初のスケートパークであり、また、市民や関係者からも大きな期待を寄せられる中で供用を開始いたしました。積極的にイベントや競技会を誘致して、ストリートスポーツ体験会やナイターの導入などに取り組みました。経験のない施設であり模索しながらの運営でしたが、随時協議、調整を図りながら安定的な努めてまいりました。利用者のルール、マナーについては、供用前から団体等と協力しながらチラシを作成して周知に努めており、アンケートの結果にあったとおり期待した以上に効果があったと認識しております。

長くなりましたが、説明は以上となります。御審議のほどよろしくお願ひいたします。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの事務局の御報告に対しまして御意見、御質問等お願ひしたいと思ひます。

その前に資料2、今日机上配付されていたこれが蘇我スポーツ公園の全体の位置関係、施設名称ということで、これを見ながらということよろしいでしょうか。

この中でスポーツ施設が四角で囲ってあって、駐車場が点線で囲ってあります。それはそれぞれ指定管理しているところだと思うんですが、議題を見ると、公園園地というものそれぞれの3つのところに分かれて出てきています。この公園園地というのほどこの部分が今回入っているのかというのを教えてもらってもいいのでしょうか。それとも囲われているところだけではないのですか。

【公園管理課運営調整担当課長】 説明の中でも少し触れたんですが、この蘇我スポーツ公園につきましては、全体が指定管理施設となっておりますので、部会長に御説明いただいて恐縮なんです

が、赤枠実線の中が有料施設、点線は有料施設ですが駐車場、それ以外が全て園地ということになっております。

【石井部会長】 全部緑色の部分が指定管理の対象になっているということによろしいでしょうかね。

【公園管理課運営調整担当課長】 そのとおりでございます。

【石井部会長】 レクリエーション広場（みどりの丘）は、3つのうちのどこに含めてここでは話をすればいいことになるのでしょうか。

【公園管理課】 スケートパークのところ。

【石井部会長】 ということですので、それを踏まえて皆様御意見、御質問があればお願いいたします。

では、ちょっと出るまでに。ここで多目的広場と第1から第3の多目的グラウンドとあるんですけども、広場とグラウンド、名前は どうして違っているのかと本筋とは離れるところなんですけれども、分かれば教えてもらっていいですか。

【公園管理課】 これは千葉市蘇我スポーツ公園を直接整備していたのがUR都市機構なんですけれども、UR都市機構の事業計画の中で名前がつけられたものですので、そのこの名前の選定方法までは市のほうが関与しておらず、我々も多目的広場と多目的グラウンドということで若干分かりにくさというのはあるんですけども、そのこの経緯まではなかなか。あと、もともと多目的広場（フクダ電子スクエア）は最初から人工芝のサッカー場だったんですけども、今人工芝になってますフクダ電子フィールド、第1多目的グラウンドは整備当初はダスト舗装の少年野球とかサッカーとかが併用できるような多目的のグラウンドだったということがあります。恐らくその中から多目的に使えるグラウンド、土とかを主体としたものということで第1多目的グラウンド、第2多目的グラウンド。ちなみに今円形野球場となっておりますけれども、これも整備計画の中では第2多目的グラウンド（円形野球場会）という名前でしたので、恐らく野球等も使えるような多目的、野球、サッカー等々もろもろいろんな用途で使えるグラウンドという意味だったのではないかなというふうに推測はできます。

【石井部会長】 ありがとうございます。

では、観音寺委員。

【観音寺委員】 ちょっと資料が多いので、まず8-1、ちょっと私の場合は質問というより意見も含めてになります。ROCK IN JAPAN FESTIVALについては視察させていただいたときに加藤さんからいろいろ御説明いただいたのであれなんですけれども、やっぱりイベントが来るということで当然人が多く来て、にぎわいだとか商業の売上げが上がるだとかいい効果というのは当然あると思うんですけども、その一方で、そんなに多くないとはいえ、やっぱり騒音の問題だとか渋滞ができるだとかごみが増えるだとか功罪あるかなというふうに思っていて、このあたり、今回は今年初めてでしたよね。

【公園管理課】 昨年度は初めてです。

【観音寺委員】 なるほど。今回もあって2回やったんですか。

【公園管理課】 去年から春、夏2回になっています。今年の春は終わりましたので、また8月に。

【観音寺委員】 あるということですね。このあたりはそんなに住民から苦情があったという話は

なかったようではありますが、そうはいつでもやっぱり風向きとの関係とか結構運営の方々がかなり気を使ってくれてやっているというお話も聞きました。いい取組ですし、茨城からでしたか、千葉に来たというのはレガシーになる話ですし、やっぱり出ていかないようにするというのも必要なかなというふうに思います。丁寧にケア、指定管理者さんだけでなく千葉市としても非常にいいイベントが来ているのかなというふうに思いますので、このあたりは対応していただきたいなというふうに思います。

あと、これは感想にもなるんですけども、この間お邪魔させていただいたときに園地管理の一部直営管理が始まったということで、非常にきれいになったなというふうに感じました。ちょうどレクリエーション広場ですか、以前はただ土が積んであったときにお邪魔したときは、通路以外のところはもう草ぼうぼうで私の背丈ぐらいあったなというイメージがあったんですけども、このあたりがかなりきれいになったのは、一部直営管理のおかげというふうにも聞きました。こういう管理手法の変更とかでうまくよくなることがあればぜひ取り入れていただきたいなというところですよ。

あと、8-1の話でいうと、アンケートの話が結構出てきています。6ページの3の(2)で指定管理者さん自身もモニタリングについてはいまだ質、量ともに不足しているという認識をされていて、次年度以降は計画的に実施するとともに積極的に利用者とコミュニケーションを図り、生の声を収集し管理運営に生かしていきたい、ここまで書くのであればしっかりやらせてほしいというか、そこはここまで書くんだからちゃんと取ってほしいなと考えます。最近紙でアンケートはあまり取らないし、QRコードで、携帯でかざしてアンケートフォーマットが出てきて、みんな文字を打つのも早いので、1分2分で答えられちゃう。グーグルのフォームとか無料のものもありますし、ちょっとお金をかければいろんな機能はあるんですけども、最低限の紙で取れるアンケートのレベルであれば、フォーマットを使いつつ手軽に取れる仕組みを入れていくというのもありなんじゃないかなと思ったので、意見させていただきます。

続いて、9-1の話ですが、5ページの小学校へのチラシ7万枚、これはすごくいいですね。やっぱり紙のチラシはすごく効果がいまだにあって、SNSとかの流行の時代ですけども、そうはいつでも学校で配られた紙を親御さんに見せて、行ってみましょうよという話はあるかなと思います。このあたりの取組、7万枚のチラシも結構印刷費も含めてあったと思うんですけども、非常にいい取組かなというところですよ。

その下のアンケートのところで、②の一番下のほうに駐車場を安くしてほしいという意見がありましたけれども、駐車場は今幾らなんですか。

【公園管理課】 今1時間100円になっています。

【観音寺委員】 この金額感はそんなに高い、安いという、ほかの施設と比べてどうなのでしょう。

【公園管理課】 近隣のコインパーキングとほぼ同等です。

【観音寺委員】 市の施設にしては高いというイメージなんですかね。

【公園管理課】 いや、公園駐車場としては特に高くもなく低くもなくというような金額になっています。

【観音寺委員】 なるほど。多分長時間利用する人からすると、半日いて600円、700円かかっている

る感じなのかなと。ちょっと分からないんですけどもね。何か市の施設という中で、この駐車場の利用料金で条例とかであるんですか。

【公園管理課】 そうですね。条例で定めている金額になります。

【観音寺委員】 何となくちょっと少し気になりましたので、質問させていただきました。

あと、10-1のほうですが、こちらはやっぱりスケートパークは新しい施設ですし、どれぐらい行くのかなと思って期待というか見ていましたが、1万4,882人ということですのですごい達成率ですね。あまりこのAというのをこういう評価で見ないんですけども、久々にAが出てよかったなと思っています。できる前に我々もお伝えしたマナーのところはやっぱり重要かなと思っていて、現地を見させていただいたときも利用者の方はすごいマナーがよかったんですね。本当にびっくりして、私が立っていたら「こんにちは」なんて言って話しかけてくるぐらい利用者の方はすごい感じよくて、加藤さんとも話したのは、最初にマナーのいい施設ができると、マナーの悪いものが来ても「そいつは何だよ、やめろ」みたいになっちゃうので、最初はすごく大事だと思っています。その意味では、スタートとして参加者数もすごく多いですし、利用者マナーの施設もできたということで、経験者の方を入れたりだとか御努力されたことが実を結んでいるのかなというふうに思いますので、このスケートパークについてはすばらしいスタートで我々としてもうれしいなというところです。

以上です。

【石井部会長】 それでは、ほかの委員、いかがでしょうか。

どうぞ。

【霞委員】 私も初めて見学させていただきました。私は個人的にテニスをやりますので、テニスコートなんですけれども、私が見学させていただいたときには利用者がいなかったもので、資料を見ると大体6割ぐらい稼働率があるということは、土日は倍と考えていいんですか。

【公園管理課】 土日は大会等で利用がまず間違いなく入っています。平日でもあの日は本当にむしろ私もびっくりしちゃって、ふだん平日で御案内していても大体使われているんですけども、あの日はなぜか全く、本当にいなかったんですが、平日も大体やはり御高齢の方が比較的多いんですけども、よく利用させていただいております。

【霞委員】 分かりました。

あと、今ちょっと話題といいますか、車椅子の方は利用可能ですか、こちらは。

【公園管理課】 車椅子はお断りをしています。ただ、フクダ電子ヒルスコートでは立位テニスの大会が定期的に行われておりまして、その関係で今スクールのほうでも立位テニスのスクールをやっています。立位、立ちながら、障害をお持ちの方でも車いすではなくて、立ちながらやるテニスというのがあるんですね。その大会はあそこで毎年年に一回開催されていて、その流れからスクールでも立位テニスのスクール枠というのを今やっております。

【霞委員】 分かりました。ありがとうございました。

【石井部会長】 よろしいでしょうか。

何か御質問、御意見ございますでしょうか。

【望月委員】 私は当日見学に行けなかったもので、実際の様子は分からないんですけども、利用者数の多少に差があるのは、スポーツ競技の流行による影響もあるのでやむを得ないのかとは思

いつつ、総じて利用者数は結構多いのでよかったですと思います。

あと、ごみ箱の設置の話がありました。今後もしキッチンカーを入れるということになると、キッチンカーのほうでごみ捨てを用意するとは思いますが、後でごみを捨てる場合もあると思いますので、利用の仕方に応じて今後臨機応変に対応いただくのが良いかと思いました。

以上です。

【石井部会長】 何か。

【馬場委員】 もしかしたらちょっととんちんかんな意見かもしれないんですけども、この蘇我スポーツ公園はジェフとかプロチームが指定管理に関わっているというところがポイントだと思うんですけども、あまり今ジェフは成績がよくなかったりするので、そういうところも集客にはかなり影響が出ているんじゃないかなと思うので、ソフトとハードのシナジー効果というのが多分重要だと思うので、これは指定管理の話だろうと言われるかもしれないんですけども、ぜひジェフには頑張ってもらいたいというのはありますというのが1つですね。これはせっかくいいスタジアムなので、ぜひ使い続けてほしいというのが1つ目です。

それから、9の多目的グラウンドのところでは、専用使用が少ないじゃないですか。そこは何か分析されたりとかはあるんでしょうか。

【公園管理課】 この中でも書かれていますけれども、やはり当初想定していた主な利用者層である高齢者の利用があまり見込めていない、実際にないというのがあります。当然指定管理者もかなり頑張って、団体に働きかけたりですとか、本当に指定管理スタッフご自身が協会に加盟して、実際に競技会に出てお声をかけたりいろいろ努力はしてくれています。ただ、やはり団体さんに聞くと、駐車場が有料であるということ自体がネックだというふうに言われてしまっていて、駐車場が無料になるのならというようなお話は実のところあるそうです。なので、今指定管理者のほうでも、前年度の初年度が2件というほとんど使われていないような結果だったのが30件までかなり頑張って増やしたところではあるんですけども、やはり高齢者向けの団体の専用使用頼みでいいのかというようなことまで含めて、指定管理者のほうでこの施設の在り方とか使われ方というそのものを考えようということは進めてもらっています。

【馬場委員】 交通の面なら巡回バスをちょっと特別に出すとか、そういうアイデアももしかしたらあるかもしれないですね。

それとあと、スケートパークを含めて全体なんですけれども、スポーツの人間として見たときに、どうしてもこういうスポーツ施設というのは、するスポーツのための施設というふうに見てしまうので、どれだけスポーツをしに来るかという発想でいろんな資料を見ちゃうんですけども、もうスポーツは生活の一部であってほしいと思うので、例えばスケートパークでスケボーをやっている人たちを普通の人たちが見て「わー、すげえ」というような、何かそんな「する・見る・支える」がここにあふれているような、何かそんな空間にぜひなってほしいなど。する人だけが集まってしていますじゃなくて、している人を見ているとか、例えば子供はするけれども、お母さんは何しているとかお父さんは何していると家族でみんなが過ごせるような、子供が何々やりたいと言っても、いや、お父さんは疲れたから行きたくないと言って終わるんじゃなくて、お父さんも行ってお父さんは何しようというような家族がみんなですごせるようなとか、アリオとかいろいろショッピングモールもあるんですけども、「する・見る・支える」が「する」だけの施設じゃな

くてそういうものが附帯施設とかそういうものも含めてあったらもうちょっとにぎわうんじゃないかなというふうに思います。なので、「する」だけを切り取らないでほしいなという思いがちょっと最近ありました。

すみません、一言コメントさせていただきました。

【石井部会長】 ありがとうございます。

ちょっと私から細かい点も含めて幾つか質問等をさせていただきます。

資料4で、蘇我スポーツ公園の利用実績比較資料ということで今日出ていました。この一番上に利用者数・実績とありますが、この中には音楽フェスの人数は入っているのでしょうか。

【公園管理課】 入っています。

【石井部会長】 下で音楽フェス開催実績とありますが、その人数を引くとそれ以外のスポーツで利用した人だということになるんですかね。

【公園管理課】 はい。

【石井部会長】 それから、フクダ電子アリーナについては、下のほうでJリーグの開催実績が記載されています。この人数も上の利用者数の中に入っているということですね。

【公園管理課】 入っています。フクダ電子アリーナに関しては、かなりがたがたがありますけれども、そこがやはりJリーグの入場者数に引っ張られているという根拠資料になります。

【石井部会長】 資料8-1の5ページ、ここで利用者数及び入場者数の目標が年35万人となっているんですけども、この35万人というのは目標として考えていったときにどのぐらいの内訳の想定をされていたかというのは分かりますでしょうか。

【公園管理課】 当時、令和2年度からの募集ということで、令和元年度に委員会に諮らせていただいたんですけども、そのときに直近の3年から5年、つまり平成26年から平成30年の実績値を一つ参考にしております。このときの平均の実績値が約34万人ぐらいだったんですね。なので、目標値も込みで35万人という設定をしております。実際には令和2年からコロナ禍になってしまったので、がくっと数値が落ちてしまい、その後、大分戻ってきましたけれども、残念なことにジェフさんのほうの観客が戻ってこないというような。ジェフさん側もかなりそれは問題視されてはおるようなんですけれども、大体コロナ前が1試合平均1万人ぐらいだったのが、今現状、今シーズンでもちょっと6,000人欠けるぐらいを推移しているそうです。そのあたりの影響があるかなとは思っています。

あとは、ここのところ大規模な改修がオフシーズンに入っているせいで、高校サッカーを受けられなかったりとか、ちばぎんカップを柏でやっていただいたりとかということがありまして、その分何万人単位で少し減っちゃっているということがあります。今シーズンもちょうど今年の1月、2月に競技用照明をLED化したんですけども、今シーズンオフも次は音響設備を改修しますので、また高校サッカーとちばぎんカップはほかの会場でやっていただく感じになります。

【石井部会長】 それと、②のフィールド稼働日数80日/年というのも高校サッカーとちばぎんカップをやったかやらないかで結構変わってきているということでしょうか。

【公園管理課】 そうですね。特にJリーグのシーズン中はやはり土日にはほぼほぼ入ってしまうので、一般の利用枠を設けられないところがあります。なので、昨シーズンもほとんど一般利用枠が設けられておらず、例年オフシーズン、Jリーグが終わった後に一般の方たちが使用する枠を設け

ていたんですけれども、その期間に工事が入ってしまうと安全が確保できてないので、完全に貸出し不可になっちゃうので、ここで本来やるべき大会ですとか一般利用枠が削られることで貸出し日数が減ってしまうことになっていますね。かといって、それ以外のところに振ればいいのかとなると、やはり天然芝の状態を確保しなきゃいけないところから、過密なところにさらに一般利用を入れるということが難しく貸出し日数が減っているというところですよ。

【石井部会長】 この特記事項のところは令和4年12月から令和5年2月、照明工事による使用休止の影響とあるんですけれども、ここで使えない日を除いて使える日だけで考えたときに利用率というのはどのぐらいになるかというのを出しているんでしょうか。

【公園管理課】 ほぼほぼ本来、芝は大体5月、6月ぐらいと9月ぐらいにちょうど夏芝、冬芝の切替えの管理が入る時期があるんですけれども、本来芝管理の観点からいうと、ここは完全に閉めて一切使わないでほしいんだそうですけれども、ここはかなり入れてもらって、この62日という数を稼いでいただいていますので、ここの約3か月間を除けばかなりいい状況で貸出しを頑張ってくれているというふうには考えています。

【石井部会長】 それから、7ページの(4)のところの植栽管理、これを一部自営で行い一体的に公園内の美観向上に努めているということで、確かにこの前視察で行ったときにきれいになっていたのですが、きれいになっていないところもありました。その植栽管理を一部だけ自分たちでやって、一部は委託をまだしているという状況なんですか。それは今後変わるんでしょうか。

【公園管理課】 実は昨年度から今年度でもうちょっと直営エリアを増やしてはいます。とはいえども完全に自前だけでやるには従業員数もありますし、市内の事業者の育成の観点からも完全に直営にしてしまうのはまた好ましくないんじゃないかという葛藤もあるそうで、比較的人目につかないところですか回数数を少し減らしてもよさそうなちょっと外周寄りとか、そういうところを委託のままにして、皆さんがよく使っていただくところ、美観としてきれいにキープしておく必要があるところなんかは直営に切り替えています。

【石井部会長】 芝を自分たちはもっとよくできるんだということで、たしか指定管理に応募していたときもあったと思いますので、自分たちが使うところだということもあるので、ちょっとでもよくなるようお願いしたいなと思います。

それから、同じページのフクダ電子アリーナでアンケートをしていない、実施なしということだったんですけれども、それは何か理由があったんでしょうか。

【公園管理課】 これに関しては、昨年度委員会のほうでも例えばジェフさんと協力してウェブアンケートですとか独自に対面のものでないもので何か検討してくださいという話はあったんですけれども、やはりJリーグのほうで対面のアンケートというよりもそもそもチラシ配布というものに制限がかかってしまっていて、要はマッチスポンサーのものの配布はできても、それ以外のものの配布が基本的には駄目になってしまったというところがあって、その中で昨年度はフェスが2回あり、九都県市合同防災訓練がありということで、シーズン中もかなり忙しかったこともあって、そっちまで気が回らなかったというのが正直なところだったらしく、すみませんでしたという純粋に謝罪がありました。

今シーズンはもう既に6月にWEリーグで初めてアンケートを実施してもらったりということを進めていただいていますので、いろんな取組はしていただくように話しております。

【石井部会長】 資料の8ページのフクダ電子フィールドの人工芝の状態不良という意見、苦情があったことに対する対応の中で、フクダ電子フィールドは人工芝が特殊な使用となっているためというのは、この漢字はこの使用でいいのでしょうか。

【公園管理課】 間違っています。

【石井部会長】 違うんですかね。

【公園管理課】 「仕様」です。

【石井部会長】 先ほどの説明の中でジェフのレディースとかユースが利用しているから劣化、そういう利用の仕方もあるからだという御説明があったかと思うんですが、そうだとしたら一部ジェフに負担を求めるとかをして一緒に芝を張り替えるとか、そういったことというのは検討の余地というのがあるんですかね。

【公園管理課】 こちらについては、もともとジェフさんが寄附していただいた人工芝というものの、そこがスタートではあります。ただ、そのときに整備直後であったことと、そもそもとして国からの補助金が入っていることから大きな機能の変更というのができなかったのも、もともとダスト舗装のものの上に人工芝を置かざるを得なかった。普通はサッカーの人工芝は6センチぐらい長さがあるんですね。そこに2センチ珪砂が入っていて、その上に2センチゴムチップが入っていて、上に私たちがサッカーの人工芝だと思っている2センチ、上の本当に3分の1だけなんです。

ただ、下のダスト舗装の上に直接施工してしまうと、ダスト舗装を傷めてしまうということで、間に2センチのゴムマットが入っているんですよ。なので、上の人工芝が4センチしかないの、中の珪砂とかチップとか1センチしかない。稼働が高くてよく使われている結果、やはりゴムチップや砂がずれてしまって直接人工芝のシートの大本のところにダメージが行ってしまうので、芝自体の劣化が激しいという、特殊な、ちょっと変わった仕様だからこその特殊な事情があるんですね。

なので、一般的に10年と言われているんですけども、10年もつかな、という心配があるのは事実です。市としても今後どういうふうに補修していくとか、どこかのタイミングで全体張り替えをする必要があるんですけども、そこは予算の事情等々ありますので、どういうふうにやっていくかということの検討は並行して進めていくつもりでいます。

【石井部会長】 9-1、1ページの成果指標のところなんですけれども、今回フェスの利用で3万6,000人ということだったと思います。そうすると、仮にフェス以外で利用がゼロだったとしても、もうそれだけで市の目標の90%を達成してC評価になってしまうということがあるかと思えます。そうすると、フェス以外の目標の利用者数というのも一つ設定をして、そこに向けて頑張ってもらおうというのもありなのかなというように思いました。もともとのこの4万人自体はこのゴルフの利用だけでは出せない数字だということは伺っていますけれども。

【公園管理課】 令和3年度が7か月で1,979名という利用でした。令和4年度がフェスの人数を引いたところ5,169名ということで倍以上に伸びてはいます。11月に配布した小中学生のチラシで、実際に大体100人ちょっとぐらいだったものが400人を超えるぐらいの利用がコンスタントに続いておりましたが、5月からは落ち始めて、6月に280名ということでまたかくんと落ちたところがあります。

なので、定期的に小中学生を対象にお知らせのチラシ等々を配布するなど、少し指定管理者のほうでも今後どのように使っていただくためにアプローチしていくかというのは考えてもらっておりますので、指定管理者もフェスだけではなくて、今の5,169人をどこまで増やすかという意識を持ちつつ取り組んでもらっておりますので次回の公募のときは、そこを評価できるような仕組みも考えた上で設定をしていきたいとは思っています。

【石井部会長】 このフクダ電子ゴルフパークが第3多目的グラウンドと多目的となっていますが、ゴルフ以外の利用というのはあるのでしょうか。

【公園管理課】 現状としてはフェスとかの多目的利用というような意味でやっています。当初の整備計画では、コースは設定されるものの全面フラットという想定をしていたんです。ですので、メインとしては3種のニュースポーツ系ゴルフなんですけれども、それ以外の利用もできるという想定をしていたんですが、整備されていく中で御覧になったとおり起伏のあるコースになってしまったので、正直ゴルフ以外の利用というのが現状としてはなかなか難しくなっています。

なので、初年度のスナッグゴルフとか昨年度はジェフさんと一緒にミニフットゴルフなんていうやっぱりゴルフ系ではあるものの、もう少し多様な、いろんな種目でできるような努力はしてもらっています。

【石井部会長】 最後に10-1のスケートパークの関係で、利用者ニーズ・満足度等の把握ということでアンケートを利用者等に行っていたかと思っています。マナーとかという話もあったんですけども、ほかの施設の利用者からこのスケートパークを利用している人たちへの何か意見というものを聞くような場面というのはあるのでしょうか。なければあったほうがいいのかなど。何か苦情みたいなものも含めて、何か想定できるかなという気もしますので、そういうのがなければ、いろいろ聞いたけれども、特段ありませんでしたというのであればそれが一番いいのかなとは思いますが。

【公園管理課】 現状では特に園内の一般の利用者さんからスケートパーク、スケートボードでどうのこうのとかというようなお話はいただけていないので、指定管理者が園内を回っているときに滑っている子たちにはお声がけをして、パークの中だけにしてねと言うと、観音寺先生もおっしゃっていましたが、結構みんないい子たちなので、「すみませんでした」と言ってちゃんと持って歩いてくれるとか。指定管理者側もやはり大変なんじゃないかという思いはあったのですが、蓋を開けてみると非常にマナーがよくて、挨拶もきちんとしてくれて、働いているスタッフ側もすごく気持ちよく常連さんたちとコミュニケーションを取りながらいろいろ進めているそうです。本当にほかの施設よりも個人利用ということもあるので、常連で来てくれている子たちは本当に知り合いになって、直接いろんな意見交換ができています。ちなみにこの4月に常連さんから1人アルバイトになったということもあって、やはり蘇我のあそこのパークをすごく大切に利用者の方が思っているという、とても理想的と思えるような形で今できているかなと、よく指定管理者と話をしています。

【石井部会長】 ありがとうございます。

それでは、ほかに御質問。観音寺委員、どうぞ。

【観音寺委員】 すみません。ちょっと聞き忘れちゃったところがあって、9-1なんですけれども、先ほど会長から4万人についてのフェスとそうじゃない内訳という話もあってあれなんです

けれども、その下の②の専用使用件数150件目標で30件、専用使用は何でしたか。1日貸切り、大会とか。

【公園管理課】 貸切りなので、実はここにもフェスが入っています。

【観音寺委員】 なるほど。フェス入りでこれなんですね。そうすると、純粹にここで大会とかスケートパーク、どういう人が大会以外で考えられるんですか。150件は結構きつくないですか。

【公園管理課】 当初としては、午前だけとか時間単位の貸切りの大会というのを想定していたんですね。もともと整備のときから各団体さんにヒアリングをする中で、どちらかという土日より平日をよく使うという話があったんです。もう午前中だけ貸してくれれば基本的に大会はできる。なので、そういうような使い方をしたいというような要望があったので、午前・午後とか土日とかも含めて、年に平日がほぼほぼ入っていれば150ぐらいは行くかな。週二、三回ぐらい大会が入ればみたいな想定をしていたところなんです。

ところが、実際にはなかなか使っていただけていなくて、今年度も予約が入っていたものがほかの会場でやりますなんていうのがあったりして、なかなか団体さんに使っていただくというハードルが思っていた以上に高くなっているという現状があります。

【観音寺委員】 実際2ページの利用料金収入で見ると、計画1,200万で実績300万、約900万の劣後というのは、この専用使用が伸びなかったことが要因としては大きいんでしょうか。

【公園管理課】 この300万のうち約200万がフェスの利用料金収入なので、やはり倍ぐらいのようなどころですね。

【観音寺委員】 ちょっと利益還元するからいいというわけじゃないんですが、資料3の利益還元計算シートを見ていると、第3多目的グラウンドのマイナスが例えばトントンだったら収支が5,000万ぐらいになっていて、ちょうど1割、4億9,000万の1割を超えるんだらうなとか、利益還元をちょっとしたんじゃないかなんて思いました。第3多目的グラウンドだけがマイナスになっていて、フェスも入れてこうなっているとすると、実際環境としてはいいゴルフができるものであって、また、チラシの話なんかもいい取組をしているんですけども、実際収支のところはちょっとついていけないのかなという気はしましたので、一層の改善が求められるかなと思いました。

例えば貸切り利用というか、半日とか1日とか借りてくれそうな団体へのアプローチをしてみるとか、そういうことも今小学生にまいた次のステップとして何らかのアプローチがあってもいいのかなという気がしました。

以上です。

【石井部会長】 利益の話が出たんですけども、先ほどのZOZOマリン、あちらの看板の収入だとかいろいろチラシに入ってくるものも大きかったと思うんですけども、こちらの蘇我のほうでは、その辺はどうなんでしょうか。

【公園管理課】 蘇我のほうでも行政財産目的外使用で、フクダ電子アリーナの中の看板というのはやっています。石井先生、観音寺先生、霞先生は見ていただいたと思うんですけども、量としてはロッテの、マリンスタジアムの中に比べると非常に少ない量ですので、行政財産の使用料に関してもロッテとは桁が2つぐらい違うような数字ではあります。なので、全体の中ではそこまでの還元額ではないので、特にロッテのような指標は蘇我では設けておりません。

【石井部会長】 蘇我の公園のフクダ電子アリーナとかほかの部分も含めて、看板を指定管理者が集めてきたら、その分収入は指定管理者のほうにも入るんでしょうか。それともこっちはそうっていないんでしょうか。

【公園管理課】 基本的な考え方はロッテのZOZOマリンスタジアムと同じなんですけれども、看板が設置できるのは本当にフクダ電子アリーナの中の客席に向けたところだけになっています。その自主事業で広告を掲示するための枠というのは、指定管理者が営業をかけて売っています。その契約金というのはみんな指定管理者の自主事業となっています。市としては、定めた使用料というのを納めてもらって、それが使用料になっています。そこはZOZOマリンスタジアムとフクダ電子アリーナと算出の根拠が少し違うので、ZOZOマリンスタジアムのほうがお高めになっています。

【観音寺委員】 看板の金額は自由に決めていいんですか。

【公園管理課】 自由に決めていいです。

【観音寺委員】 でも、払う使用料というのが決まっている。

【公園管理課】 そうですね。行政財産の使用料プラス加算額というのがあって、その加算額というのがZOZOマリンスタジアムとフクダ電子アリーナでちょっと率が違うということです。

【観音寺委員】 看板が撤退しちゃうと、その分減収、自主事業が減る。

【公園管理課】 自主事業も減りますし、市に入ってくるものも減るといふうになっています。

【観音寺委員】 市も減ると。

【石井部会長】 指定管理者には広告看板も頑張ってもらいたいということですよ、そうなる。

【公園管理課】 やはり興行のときに看板があるなしはすごく見栄え的にも盛り上がり的にも大きなところになりますので、今SSP UNITEDではジェフさんが入っているので、その広告看板の営業に関してはジェフさんが対応して、自社のチームのスポンサーさんにも一緒に合わせていろいろ動いてはいただいているそうなんですけれども、やはりコロナになってからなかなか営業的なものは厳しいというような話は聞いております。

【石井部会長】 フクダ電子ヒルスコート、庭球場とかに看板は出せないんですか。

【公園管理課】 基本的に都市公園法において広告というのが禁止事項になってしまっている。ただ、プロ興行においては広告というのは必須なので、そこができませんとなっちゃうと興行自体が成り立たないところはあるので、そこだけ特例で。なので、公園内だと大会とか興行とかに付随した単発の仮設の広告物というのは、都市公園の占用許可で取れますけれども、常設というものは基本的にできないというルールになっています。

【霞委員】 フェスのステージに広告を出すというのはできないんですか。

【公園管理課】 それはできますけれども、それは別途占用許可という別のルールで使用料はいただいています。

【観音寺委員】 単発だから。

【霞委員】 それはできるわけですね。ステージはでかいものを組むじゃないですか。

【公園管理課】 その下にロゴとかそういうのを入れるのは可能です。

【石井部会長】 そのほか何か御質問とか特にございませんでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、1、公の施設の基本情報から7、総括、(2)市による評価については以上で終わります。

続きまして、7、総括、(3)都市局指定管理者選定評価委員会の意見についてですが、次年度以降の管理運営をより適正に行うための意見または助言などを皆様お願いいたします。

年度評価シートが分かれているため、まずは資料8-1、第3多目的グラウンド等、スケートパーク等を除いた千葉市蘇我スポーツ公園についてお願いいたします。

観音寺委員、お願いします。

【観音寺委員】 先ほどとちょっと重複しちゃいますが、アンケートというか利用者のニーズをしっかりと取り、フェスの影響が大きいので、委員長からあった話とも重複しますが、それを除いて純粋な力というか、どれぐらいの集客だったのかも見ていくところは重要と思います。

あと、管理についてはいろいろと工夫もされていますし、細やかな管理をされていると評価しておりますので、引き続き対応いただきたいなと思います。

以上です。

【石井部会長】 霞委員、いかがでしょうか。

【霞委員】 いろいろ取り組まれているので、引き続きこのままやっていただければと思いますし、フェスも大成功に結びついて、何かお話を聞いたら蘇我の駅の表情が一変したというお話もありましたので、一つの代表的な形になって、全国的に知名度も上がるといいなと思っています。

以上です。

【石井部会長】 馬場委員、いかがでしょうか。

【馬場委員】 大体発言しました。

【石井部会長】 望月委員。

【望月委員】 芝の問題がありますが、改善に努めてもらえればと思います。

【石井部会長】 最後、私からですが、管理という意味ではやはりおおむね市が指定管理者に求める水準に即した良好な管理が行われていたと考えられます。ただ、フクダ電子アリーナのアンケートですね、これもきちんとやっていただきたいなところをお願いしたいと思います。植栽管理等を直営で行うようになって美観が向上していますので、これも引き続き続けていっていただきたいなと思います。

やはり芝についてもそうですけれども、フクダ電子アリーナのところはいろいろジェフさんがどれだけ頑張るか。ジェフさんの本業でどれだけ頑張るかということにも非常に大きな影響があると思いますので、ぜひともJ1に上がっていただければと思います。

続きまして、資料9-1、第3多目的グラウンド等について御意見、御助言などをお願いいたします。フクダ電子ゴルフパークの部分についてということになります。

観音寺委員、お願いします。

【観音寺委員】 これも先ほど来申し上げたところと重複しますが、このゴルフ専用、多目的グラウンドという名前ですが、なかなか千葉県内でも珍しい施設という気がしています。

そういう意味でいうと、掘り起こせばこういう施設を使いたい方々はシニアも含めて、もっともっているんじゃないかなという気はしています。また、先ほどの目標の話もかぶっちゃいますが、

専用使用が今少ないという状況下、新たなお客様の発掘、団体、競技系の場所を求めている人たちが県外にもいるかもしれないと感じます。比較的こういう施設は千葉市民のためにというのがあ
るんですけども、そうは言っても利用いただける方に対してこの施設の存在を知ってもらうと
いうことは有意義だと思いますので、専用使用が増えるようなアプローチというか活動もぜひお
願いできればなと思います。

以上です。

【石井部会長】 霞委員。

【霞委員】 追加で今のお話の流れですけれども、収支はここだけマイナスになっちゃっているの
で、ここの改善を目指してぜひ今の観音寺委員のお話をやっていただければと思っております。

【石井部会長】 馬場委員、いかがでしょうか。

【馬場委員】 一言だけ。せっかく多目的なので、何か多目的に使えるというよさをぜひ生かして
もらえたらなと思っています。さっきの野球人口が減っているとかという話は、いわゆる競技スポ
ーツの競技人口というのは減っているんで、ここでこのスポーツができますという場所の使い方
というのはこれからますますしぼんでいくと思うので、逆に何でもできます、何でも遊べますみた
いなほうが物すごい抽象的、もっと丁寧に説明したいんですけども、本当は。だから、何でも遊
べます、何でもできますみたいなアプローチもぜひ、そうしたらもっと遊びたい人も増えるんじ
ゃないかなと思いますので、多目的という言い方がいいのかどうか分からないんですけども、ぜひ
ちょっと発想を変えていただけたらいいなと思いました。

以上です。

【石井部会長】 望月

委員、いかがでしょうか。

【望月委員】 チラシの配布など、確実に効果を得ている、感触を得ているようですので、そうい
った取組を継続していただきたいと思います。

【石井部会長】 では、最後に私からですが、管理運営という意味では市が指定管理者に求める水
準に即した良好な管理が行われているものだと考えます。引き続き適切な管理運営をお願いした
いと思います。

小中学生へのチラシの配布というところ、これは市がどうこうといったわけではなくて、指定管
理者が自ら動いたということですよ。非常にいいことだなと私も思います。市内だけでなく、
近隣の市原とか近いところに広げていってもいいのかなという気もしますし、それだけでまだ足
りなければ県内に広げてもいいのかなと、そういうことも思いました。引き続きしっかり管理運営
をしていっていただきたいなと思います。

では、続きまして、資料10-1、スケートパーク等について御意見、御助言をお願いしたいと思
います。

観音寺委員、お願いします。

【観音寺委員】 こちらは先ほどマナーの話とか利用者数自体もクリアしていること等言わせて
いただきまして、あと、試験的に公園内にキッチンカーの設置という話も非常にいい話かなと思っ
ています。このスポーツ部会じゃなくて公園部会のほうでも話したんですけども、常設の飲食店
は難しくてもイベント時とかお客さんがいるときにキッチンカーを導入することで、そこでいろ

いる食べられたり飲んだりできるということでお客さんの満足度が上がると思います。キッチンカー側も集客するイベントとか施設がないと出店しても割に合わないので、キッチンカーを呼ぶのも大変だというのは分かっているほうなんですけど、その上でこういうのを試験的にやってみているというのは非常にいいと思います。Jリーグの試合のあるときとか、どれぐらいキッチンカーが出るか分からないんですけども、公園内におしゃれなキッチンカーが入ったりだとか、また、そういうキッチンカーで場所を探している事業者さんなんか結構いますので、そういうところとうまく連携するのも重要だと思います。比較的道路は広いとか公園自体広いので、幾らキッチンカーを置いても邪魔にならないと思います。あとは先ほど望月委員が言ったようなごみの話も含めて、みんながボンボン捨てていって公園の美観が損なわれてはしようがないと思いますので、そのあたりも指定管理のほうでうまくルールづくりをしながら、来場者、利用者がここはいいなど。

また、マナーとかきれいさとかがうまく相乗効果になっていくと、公園自体の格とか質が上がっていくというふうに思いますので、ぜひ引き続き管理運営をお願いできればと思います。

以上です。

【霞委員】 私も先日見学させていただきまして、こちらのスケートパークが一番活気があったというか、一番若い子がたくさん来ていて、何か観音寺委員がお聞きになったら五井から来た。結構遠くからたくさん集まっているので、活気があるので、引き続きこのまま継続していただければというふうに考えます。よろしくお願ひします。

【石井部会長】 馬場委員、いかがでしょうか。

【馬場委員】 スケートパークのところは、利用者が多いのは、さっき私が言ったのと今度は発想が逆で、スケボーをやる子たちというのは競技と思ってやっていないんですよ。遊びとしてやっているんですね。なので、全中とかインターハイとか国体を目指していないからこそ、やる子たちがどんどん増えていって、そういう子たちが来てくれると思うんですね。なので、逆にその子たちにスポーツという枠組みをはめ込み過ぎると、今度は利用しなくなっちゃうと思うので、遊びの要素とかアーバンスポーツの発想を残したままできるような環境をうまく残してあげられたらいいなと思っています。

そういう意味で、最近オリンピック種目になったスケボーとか自転車とか、本当は私スポーツクライミングもやるんですけども、スポーツクライミングとか今度はパリで競技になるダンスとか、何かそういう遊びの延長でもっともっとやりたい子たちのいるものがちょっとできる。ダンスの子たちは夜、反射してガラスが鏡になるじゃないですか。そこにラジカセを置いて踊っていたりするんですよ。何かそんなのがもうちょっと昼間でも健全にできるような場所とか、鏡があつてとか、何かそういうアーバンスポーツとか遊びの延長と思えるようなものが手軽にちょっとできるようなところだったら。だから、野球とかサッカーとか何とかと言っちゃうと使う人が減るんですけども、そういう使い方ができるようなものに、すごいものをつくるんじゃなくて、何かちょっとこの一角でこんなのができるとか、そういうふうになっていってくれたらいいなと思いました。

以上です。

【石井部会長】 ありがとうございます。

望月委員、いかがでしょうか。

【望月委員】 スケートはやはり最近のトレンドで、利用人数には私も驚きました。スポーツの流行にも波はあると思いますので、長く施設を使ってもらうためには、ブームが去った後にも利用人数をできる限り維持できるようにいろいろ工夫を重ねていってほしいと思います。

【石井部会長】 ありがとうございます。

すみません、質問というか資料5、今日配付されたものがあるって、これについて何もお話がなかったんですけども、平日と休日の利用状況でパーセントが出ていますが、このパーセントは何に対する割合なんでしょうか。

【公園管理課】 これは実際の利用可能な枠数に対して、利用があった枠のパーセンテージですね。平日だと利用可能枠のうちスクエアだったら58.5%利用がありました。土日・祝日だと全体で使える100の枠に対しての87.4%の利用がありましたというものです。それぞれの施設の稼働率に関しては成果指標で御報告差し上げていますけれども、その内訳です。以前、何年か前に望月先生が平日と休日の中で、どっちを重点的に改善するべきなのか。極論土日がいっぱいであったら頑張ってもしょうがないとなると、別の使い方なんかも検討したほうがいいんじゃないかというような御意見をいただいたので、参考として昨年度はこんな状況でしたという御報告で用意させていただいております。

【石井部会長】 この表のうちの下の方の2つだけパーセントではなくて人の数になっています。このゴルフパークは、これはフェスが入っているんですかね。

【公園管理課】 これは入った人数になっております。

【石井部会長】 そこはあまり関係ないですかね。

【公園管理課】 そうですね、来年度以降はフェスを抜いた人数で御提示できるようにします。

【観音寺委員】 これを見ると、ヒルスコートも平日はまあまあありますね。

【公園管理課】 御覧になっていただいたとおり結構平日も使っていただいているというのが、あの日はなぜかいなかったんですけども、ふだんは本当に大体半分ぐらいは埋まっているようなイメージですね。

【霞委員】 かねて土日が減っちゃっている感じがしますね。令和3年と比較すると。

【公園管理課】 ちょうど昨年度、今年度で、10面ずつテニスコートの人工芝の張り替えを行っています。当然張り替えを行うということは、それだけ芝がダメージを持ち損傷している状況なので、ここまで悪いと大会ができないんですとキャンセルがこの2年ほどは続いています。今年度も一部の大会がこれだと、10面はいいんだけど10面が悪過ぎて、20面の大会をやるにはこれでは困るんだよねというのがあったりして、こここのところ大会キャンセルが多い関係で土日が下がっているという事情があります。今年度中にもう残り10面も張り替えますので、来年度から20面をすごくいい状態で使っていただけますので、ここら辺も稼働率がまた上がってくるかなとは思っております。

【石井部会長】 この中でフクダ電子グラウンドとフクダ電子スタジアムの平日のパーセントを見ると、平成31年と令和2年は非常に少ないのが令和3年になってやや増えて、令和4年になってさらに増えているんですけども、これは何か理由があるんでしょうか。

【公園管理課】 これなんですけれども、恐らくなんですけど、特に昨年度に関しては、ここの平日

については2つの音楽フェスト、あと九都県市の合同防災訓練で設営撤去期間を丸々借り上げておりますので、そこがカウントされてしまった結果だと思っています。令和3年度も音楽フェスはあったんですけども、平成31年度にも入っていますので、これはもしかしたら若干平日利用等々があった可能性はあるので、そこは引き続き検証していきたいと思っています。昨年度は本当にフクダ電子グラウンド、フクダ電子スタジアムはフェスの影響が非常に大きいかなとは思っております。

【観音寺委員】 これアリーナがないのは何でなんですか。

【公園管理課】 アリーナは平日、休日というよりもそもそも貸し出す割合が、本当に土日の興行が主になってしまうので、提示してもしようがないかなと思って削りました。

【石井部会長】 やはりこういうのはあったほうがいいですかね。引き続き分かりやすい資料をよろしく願いいたします。

10-1の部分ですが、管理運営については市もB評価としているように、市が指定管理者に求める水準を上回る優れた管理運営が行われているものと考えられます。このいい評価が続くように、引き続き頑張って管理運営していただきたいと思います。

それでは、7、総括、(3)都市局指定管理者選定評価委員会の意見ですが、先ほど皆様からいただいた御意見を含めて、部会の意見といたします。

最後に、資料11-1から11-8までの各社財務諸表から見る当該指定管理者の財務状況について意見交換を行います。一部の資料は一般に公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例施行規則第12条第1項第2号及び千葉市附属機関の会議の公開に関する要綱第2の1の規定により、ここからの会議は非公開といたします。

(経営及び財務状況に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

【石井部会長】 ありがとうございます。

では、ここからの会議は公開にしたいと思いますので、公開にいたします。

以上で、議題(3)千葉市蘇我スポーツ公園、千葉市蘇我スポーツ公園第3多目的グラウンド等、千葉市蘇我スポーツ公園スケートパーク等の年度評価についてを終わります。

本日の議事は全て終了いたしましたので、これをもちまして令和5年度第1回千葉市都市局指定管理者選定評価委員会スポーツ部会を閉会いたします。

事務局にお返しいたします。

【公園緑地部長】 公園緑地部長の小川でございます。

本日は様々な、また貴重な御意見をいただきまして誠にありがとうございました。今後も指定管理者とともに利用者目線のみならず、幅広いスポーツ振興や地域の活性化など、そのような点にも向けて適切な維持管理に努めてまいりたいと思います。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

【都市総務課長補佐】 本日の会議はこれにて終了とさせていただきます。

委員の皆様、長時間にわたり、本日はどうもありがとうございました。

39午後 4時21分 閉会